

## 岡崎市で確認されたシラハタリンゴカミキリ

長谷川道明

筆者は、大平仁夫博士のご好意により、岡崎市産のシラハタリンゴカミキリの標本を検査することができたので報告する。

シラハタリンゴカミキリ *Oberea shirahatai*  
Ohbayashi, 1956

(検視標本)

1♂, 1♀, 岡崎市池金, 31-V-1994, 大平仁夫採集(日下部良康氏同定, 筆者保管)。

シラハタリンゴカミキリは、Obayashi (1956) によって山形県産の標本によって記載され、東海地方以北の本州に分布する種であるが、近縁種で西日本に分布するニセリンゴカミキリ *Oberea mixta* Bates と極めて似ていることから、日下部 (1992; 1995) によって、腹部第5節に現れる両種の識別点がわかりやすく示されるまで、同定に少なからぬ混乱がみられた種である。

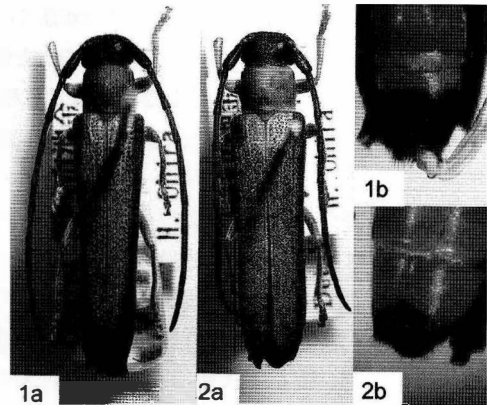
シラハタリンゴカミキリとニセリンゴカミキリは、共にスイカズラ、ヒョウタンボク類を寄主植物とし、基本的には異所的に分布するが、その分布境界と考えられる愛知県付近では両者が混成すると推測されている。

現在までのところ、シラハタリンゴカミキリの信頼される最も西の産地は、白井 (1996) による愛知県豊橋市石巻町で、これは県内で唯一の記録でもあった。一方のニセリンゴカミキリは、愛知県以西の本州、四国、九州、隠岐、五島列島、種子島に分布するとされる (日下部, 1995)。

今回、岡崎市内から本種が確認されたことにより、本種とニセリンゴカミキリが愛知県県内において広く混成している可能性が示唆されたことになる。しかしながら一方で、前述したように両種

の識別には、細心の注意が必要であることから、特に日下部 (1992) 以前に「ニセリンゴカミキリ」の名で記録されたものについては、誤認記録が含まれている可能性も高く、記録の基となった「証拠標本」の再検視による見直しが必要である。

末筆ながら、貴重な標本をご恵贈くださった大平仁夫博士、同定いただいた日下部良康氏に厚くお礼申し上げます。



1a, ♂; 2a, ♀; 1b, ♂の腹部第5節; 2b, ♀の腹部第5節。

### 引用文献

日下部良康, 1992. リンゴカミキリ属, 大林延夫・佐藤正孝  
小島圭三編, 日本産カミキリ目シ検索図説, pp. 646-  
650. 東海大学出版会, 東京.

日下部良康, 1995. 日本産リンゴカミキリ属について. 月刊  
むし, (297): 2-7.

Obayashi, K., 1956. Two new species of the genus *Oberea*  
from Japan. *Longicornia*, 3: 761-763.

白井勝巳, 1996. 愛知県豊橋市でシラハタリンゴカミキリを  
採集. 月刊むし, (303): 32.

# 1950年代の三河地方のハムシ科標本資料

山崎 隆 弘

## はじめに

この度、大平仁夫博士の御厚意により三河地方から採集された1950年代のハムシ科標本を預託された。今から65年も前のものである。当時は植林事業が盛んで、自然林の占める割合は現在よりもかなり豊かなものであったと思われる。当時、植物との関係の深いハムシ科甲虫の生息状況はどのようなものであったか、それを知ることのできる興味深い試料といえよう。

標本は変色したものや、カビに侵されたもの、破損したもの、ラベルの不明なものなどがあつたが、まさに長い年月を経て今日まで無事に残された標本で、多くの研究者の時間と労力の結晶である。今回、この機会を与えて下さった大平仁夫博士に対して、心からお礼を申し上げる次第である。

## 標本目録

### ハムシ科 Chrysomelidae

標本に付されているラベルは欧字であるが、ここでは産地を邦字で記録した。その表記で、「MT. DANDO」は、おそらく「段戸裏谷」と思われるが段戸山とした。標本は鈴木一二三 (HS)、大平仁夫 (HŌ)、犬塚普 (HI)、上田薫 (KU)、岩月学 (MI)、加藤祐弘 (SK)、鈴木吉夫 (YS) の諸氏によるものであるが ( ) 内の記号とした。種の分布のコメントは、現在の三河地方における場合である。

### ネクイハムシ亜科 Donaciinae

#### 1. イネネクイハムシ *Donacia provostii*

Fairmaire, 1885

1ex., 岡崎, 2. IX. 1953, MI. 平野部の水田や湿地などで局所的に分布する。

### コブハムシ亜科 Chlamisinae

#### 2. ツバキコブハムシ *Chlamisus lewisii* (Baly,1873)

1ex., 岡崎, 21. IV. 1952, MI. 南部の低山地～平野部では普通に分布する。

#### 3. ムシクソハムシ *Chlamisus spilotus* (Baly,1873)

1ex., 段戸山, 22. V. 1953, HŌ.; 1ex., 六所山, 22. V. 1953, MI. ; 1ex., 下山, 4. VII. 1952, MI. ; 1ex., 山中, 22. V. 1953, MI. ; 8exs., 岡崎, 10. VI. 1953, MI., 1ex., 同地, 19. IV. 1952, MI. 全域に普通に分布する。

#### 4. ハバビロコブハムシ *Chlamisus japonicus* (Jacoby,1885)

1ex., 岡崎, 31. VIII. 1953, MI., 1ex., 同地, 3. IX. 1953, MI. 愛知県では珍しいもので、豊田市で2005年に記録されているのみである。暖地系でカシ類にいる体長が4mm前後の種である。今後、注意をすれば採集される可能性がある。

### ツヤハムシ亜科 Lamprosomatinae

#### 5. ドウガネツヤハムシ *Oomorhoides cupreatus* (Baly,1873)

1ex., 茶白山, 12. VII. 1953, MI. ; 1ex. 下山, 4. VII. 1952, MI. ; 3exs., 段戸山, 17-19. VII. 1952, MI., 1ex., 同地, 9. VII. 1953, YS. ほぼ全域に分布する。

#### 6. アオグロツヤハムシ *Oomorhoides nigrocaeruleus* (Baly,1873)

1ex., 段戸山, 17-19. VII. 1952, MI., 2exs., 同地, 9-11. VII. 1953, MI. 山地に分布する。

#### 7. ヒメツヤハムシ *Oomorhoides japonicus* Jacoby, 1885

1ex., 段戸山, 17-19. VII. 1952, MI. ; 2exs., 同地, 10. VI. 1953, YS. ; 2exs., 阿寺, 13. VII. 1952, MI. 山地から鳥嶼までの中央構造線に沿っ

た周辺地域で記録がある。

サルハムシ亜科 Eumolpinae

8. アオガネヒメサルハムシ *Nodina chalcosoma* Baly,1874

5exs., 段戸山, 9-11. VII. 1953, MI., 1ex., 同地, 9-11. VII. 1953, YS.; 1ex., 阿寺, 13. VII. 1952, MI.; 1ex., 下山, 4. VII. 1952, MI. ほぼ全域に分布する。

9. ウスイロサルハムシ *Basilepta pallidula* (Baly,1874)

2exs., 下山, 4. VII. 1952, MI. 低山地や海岸部にも産する。

10. チャイロサルハムシ *Basilepta balyi* (Harold,1877)

2exs., 茶臼山, 31. VII~2. VIII. 1952, MI.; 2exs., 同地, 12. VII. 1953, MI. 山地では多産するが海岸部からは得られていない。

11. アオバネサルハムシ *Basilepta fulvipes* (Motschulsky,1860)

1ex., 茶臼山, 31. VII~2. VIII. 1952, MI.; 3exs., 段戸山, 17-19. VII. 1952, HÔ.; 1ex., 同地, 17-19. VII. 1952, KU.; 1ex., 同地, 9-11. VII. 1953, MI.; 岡崎, 17. VI. 1952, MI., 2exs., 同地, 4. VII. 1952, MI.; 3exs., 同地, 11. VII. 1952, MI., 同地, 29. VII. 1953, MI.; 1ex., 幡豆, 28. VI. 1953, MI. 全域に普通に分布する。

12. ムナゲクロサルハムシ *Basilepta hirticollis* (Baly,1874)

1ex., 段戸山, 17-19. VII. 1952, MI.; 1ex., 同地, 9-11. VII. 1953, SK. 山地から低山地に分布する。

13. ヒメキバネサルハムシ *Pagria signata* (Motschulsky,1858)

3exs., 段戸山, 17-20. VII. 1952, YS.; 2exs., 阿寺, 13. VII. 1952, MI.; 1ex., 岩津, 4. V. 1952, SK.; 2exs., 岡崎, 17. VI. 1952, MI.; 4exs., 岡崎, 9. X. 1952, MI. 南部では多産する。

14. イモサルハムシ *Colasposoma dauricum*

Mannerheim,1849

1ex., 山中, 22. V. 1952, SK.; 2exs., 同地, 20. VI. 1953, MI.; 1ex., 同地, 25. VI. 1953, MI. 海岸部や河川敷に多い。

15. マダラアラゲサルハムシ *Demotina fasciculate* Baly,1874

1ex., 本宮山, 3. V. 1953, MI.; 2exs., 段戸山, 11. VII. 1953, MI.; 1ex., 阿寺, 13. VII. 1952, MMI. 南部の照葉樹林に多い。

16. カサハラハムシ *Demotina modesta* Baly,1874

1ex., 茶臼山, 12. VII. 1953, MI.; 1ex., 本宮山, 31. V. 1952, HI. 低山地に普通に分布する。

17. アカガネサルハムシ *Acrothinium gaschkevitchii gaschkevitchii* (Motschulsky,1860)

1ex., 段戸山, 22. VI. 1952, HS.; 1ex., 下山, 4. VII. 1952, MI. 低山地や海岸部に分布する。

ハムシ亜科 Chrysomelinae

18. ヤナギルリハムシ *Plagioderma versicolora* (Laicharting,1781)

1ex., 段戸山, 17-19. VII. 1952, MI., 1ex., 同地, 17-20. VII. 1952, MI., 2exs., 同地, 9-11. VII. 1953, YS.; 1ex., 阿寺, 13. VII. 1952, MI.; 1ex., 本宮山, 9. X. 1952, MI. 全域に普通。

19. ダイコンハムシ *Phaedon brassicae* Bely,1874

1ex., 岡崎, 9. X. 1952, MI. 平野部に多い。

20. コガタルリハムシ *Gastrophysa atrocyanea* Motschulsky,1860

2exs., 岡崎, 3. VI. 1953, MI., 2exs., 同地21. VIII. 1953, MI. 平野部に多い。

21. ヨモギハムシ *Chrysolina aurichalcea* (Mannerheim,1825)

1ex., 茶臼山, 31. VII-2. VIII. 1952, MI.; 1ex., 段戸山, 17-19. VII. 1952, MI.; 1ex., 岡崎, 22. V. 1952, MI. 全域に普通に分布する。

22. ルリハムシ *Linnaeidae aenea*

- (Linnaeus,1758)  
1ex., 茶臼山, 31. VII~2. VIII. 1952, MI.;  
4exs., 本宮山, 31. V. 1952, HI. 山地に分布  
する。
23. ミヤマヒラタハムシ *Gastrolina peltoidea*  
(Gebler,1832)  
2exs., 段戸山, 17-19. VII. 1952, MI., 2exs.,  
同地, 3. V. 1953, MI.; 3exs., 本宮山, 3. V.  
1953, MI. 山地に分布する。
24. ズグロキハムシ *Gastrolinoides japonius*  
(Harold,1877)  
1ex., 茶臼山, 31. VII~2. VIII. 1952, MI.;  
2exs., 段戸山, 17-19. VII. 1952, MI., 1ex.,  
同地, 9-11. VII. 1953, MI. 山地に分布する。
25. フジハムシ *Gonioctena rubripennis*  
Baly,1862  
2exs., 本宮山, 3. V. 1953, MI. 全域から  
普通に分布する。
- ヒゲナガハムシ亜科 *Galerucinae*
26. エノキハムシ *Pyrrhalta tibialis* (Baly,1874)  
3exs., 幡豆沖ノ島, 28. VI. 1953, MI. 平野  
部や海岸部では多い。過去に「三河湾国定公園調  
査報告書」で、幡豆沖ノ島から「ニレハムシ」の  
記録があるが、この標本は本種であった。
27. アカタデハムシ *Pyrrhalta semifulva*  
(Jacoby,1885)  
1ex., 茶臼山, 31. VII~2. VIII. 1952, MI.;  
1ex., 同地, 12. VII. 1953, MI.; 1ex., 段戸山,  
17-19. VII. 1952, MI., 1ex., 同地, 17. VII.  
1952, SK.; 1ex., 三河川合, 13. VII. 1953,  
MI.; 1ex., 本宮山, 3. V. 1953, MI. ほぼ全  
域に分布する。
28. プチヒゲケブカハムシ *Pyrrhalta annulicornis*  
(Baly,1874)  
1ex., 阿寺, 13. VII. 1952, MI. 中條道夫博  
士の同定標本。少ない。
29. サンゴジュハムシ *Pyrrhalta humeralis*  
(Chen,1942)  
1ex., 岡崎, 6. VI. 1953, MI. 平野部に普通  
に分布する。
30. クロウリハムシ *Aulacophora nigripennis*  
Motschulsky,1857  
2exs., 阿寺, 13. VII. 1952, MI.; 1ex., 下山,  
4. VII. 1952, MI.; 1ex., 岡崎, 11. IV. 1952,  
MI. 南部に多産する。
31. アトボシハムシ *Paridea auglicollis*  
(Motschulsky,1853)  
1ex., 六所山, 27. V. 1953, MI. ほぼ全域  
に分布する。
32. クワハムシ *Fleutiauxia armata* (Baly,1874)  
1ex., 六所山, 27. V. 1953, MI.; 1ex., 本  
宮山, 3. V. 1953, MI. 全域に分布する普通種。
33. キアシヒゲナガアオハムシ *Clerotilia*  
*flavomarginata* Jacoby,1885  
5exs., 茶臼山, 31. VII~2. VIII. 1952, MI.;  
2exs., 段戸山, 17-19. VII. 1952, MI., 1ex.,  
同地, 9-11. VII. 1953, MI.; 2exs., 阿寺, 13.  
VII. 1952, MI.; 2exs., 下山, 4. VII. 1952, MI.  
山地~低山地に分布する。
34. ハンノキハムシ *Agelastica coerulea*  
Baly,1874  
1ex., 茶臼山, 12. VII. 1953, MI.; 3exs., 六  
所山, 27. V. 1953, MI.; ex., 岡崎, 20. V.  
1952, MI. 2exs., 同地, 1. V. 1953, MI.,  
1ex., 同地, 8. V. 1953, MI. 山地~低山地の  
湿地付近に多い。
35. ルリウスバハムシ *Stenoluperus cyaneus*  
(Baly,1874)  
4exs., 段戸山, 9-11. VII. 1953, MI. 山地~  
低山地に分布する。
36. ヒゲナガウスバハムシ *Stenoluperus*  
*nipponensis* (Laboissiere,1913)  
2exs., 茶臼山, 12. VII. 1953, MI.; 2exs.,  
段戸山, 17-19. VII. 1952, MI. 山地~低山地に  
分布する。
37. フタスジヒメハムシ *Medythia nigrobilineata*  
(Motschulsky,1860)  
2exs., 岡崎, 2. VII. 1952, MI., 2exs., 同  
地, 9. X. 1952, MI. 里山や海岸部に普通であ  
る。
38. ハラグロヒメハムシ *Calomicrus cyaneus*

- (Jacoby,1885)  
6exs., 茶白山, 12. VII. 1953, MI.; 2exs., 段戸山, 9-11. VII. 1953, MI.; 1ex., 本宮山, 3. V. 1953, MI. 山地~低山地に分布する。
39. キバラヒメハムシ *Exosoma flaviventre*  
(Motschulsky,1860)  
3exs., 茶白山, 31. VII~2. VIII. 1952, MI.; 1ex., 段戸山, 17-19. VII. 1952, MI. 山地に分布するが多くない。
40. ウリハムシモドキ *Atrachya menetries*  
(Faldermann,1835)  
1ex., 段戸山, 17-19. VII. 1952, MI.; 2exs., 下山, 4. VII. 1952, MI. 山地~低山地に分布する。
41. ホタルハムシ *Monolepta dichroa*  
Harold,1877  
1ex., 段戸山, 17-20. VII. 1952, YS.; 5exs., 岡崎, 29. VII. 1953, MI. 全域に普通に分布する。
42. ムナグロツヤハムシ *Arthrotus niger*  
Motschulsky,1857  
2exs., 茶白山, 31. VII~2. VIII. 1952, MI., 1ex., 同地, 12. VII. 1953, MI.; 1ex., 段戸山, 17-19. VII. 1952, MI., 1ex., 同地, 9-11. VII. 1953, MI.; 1ex., 阿寺, 13. VII. 1952, KU.; 1ex., 本宮山, 3. V. 1952, HI.; 1ex., 岡崎, 3. VI. 1953, MI. 山地~低山地に多産する。
43. キクビアオハムシ *Agelasa nigriceps*  
Motschulsky,1860  
1ex., 茶白山, 12. VII. 1953, MI.; 6exs., 段戸山, 17-19. VII. 1952, MI., 2exs., 同地, 9-11. VII. 1953, MI. 山地~低山地に分布する。
44. イタドリハムシ *Galerucida bifasciata*  
Motschulsky,1860  
2exs., 茶白山, 31. VII~2. VIII. 1952, MI. 山地~低山地に分布する。
45. ズグロアカハムシ *Galerucida flavipennis*  
(Solsky,1872)  
1ex., 段戸山, 17-19. VII. 1952, MI., 1ex., 同地, 17-19. VII. 1953, HÖ. 山地に分布するが少くない。
- ノミハムシ亜科 Alticinae
46. コカミナリハムシ *Altica viridicyanea*  
(Baly,1874)  
1ex., 段戸山, 9-11. VII. 1953, MI.; 3exs., 27. V. 1953, MI.; 5exs., 下山, 4. VII. 1952, MI.; 4exs., 矢作, 20. VII. 1953, MI.; 1ex., 岡崎, 7. VI. 1953, MI. 山地~低山地、河川敷などに産する。
47. ヒメカミナリハムシ *Altica caerulescens*  
(Baly,1874)  
1ex., 段戸山, 9-11. VII. 1953, MI.; 1ex., 岡崎, 24. VIII. 1952, MI., 1ex., 同地, 7. VI. 1953, MI., 同地, 25. VII. 1953, HI. ほぼ全域に分布する。
48. カミナリハムシ *Altica cyanea* (Weber,1801)  
1ex., 岡崎, 11. VII. 1952, MI., 1ex., 同地, 25. VII. 1952, HI. 南部に多い。
49. ニホンカミナリハムシ *Altica nipponica*  
Ohno,1960  
1ex., 段戸山, 9-11. VII. 1953, MI. 山地に局所的に分布する。
50. アラハダトビハムシ *Zipangia lewisi*  
(Jacoby,1885)  
3exs., 茶白山, 12. VII. 1953, MI.; 8exs., 段戸山, 17-19. VII. 1952, MI., 3exs., 同地, 17-20. VII. 1952, HS., 2exs., 同地, 17-19. VII. 1952, KU., 6exs., 同地, 9-11. VII. 1953, MI., 1ex., 同地, 9-11. VII. 1953, HS. 山地~低山地に分布する。
51. ガマズミトビハムシ *Zipangia obscura*  
(Jacoby,1885)  
1ex., 段戸山, 17-19. VII. 1952, MI., 9exs., 同地, 9-11. VII. 1953, MI. 山地~低山地。
52. チャバネツヤハムシ *Phygasia fulvipennis*  
(Baly,1874)  
3exs., 岡崎, 3. VI. 1953, MI. ほぼ全域に分布する。
53. フタホシオオノミハムシ *Pseudodera xanthospila* Baly,1862  
1ex., 段戸山, 17-19. VII. 1952, MI. (胴体). 山地~低山地に分布する。

54. カタクリハムシ *Sangariola punctatostriata*  
(Motschulsky,1860)  
lex., 茶白山, 12. VII. 1953, MI.; lex., 段戸山, 9-11. VII. 1953, MI. 山地~低山地に分布する。
55. ツブノミハムシ *Aphthona perminuta*  
Baly,1875  
lex., 段戸山, 9-11. VII. 1953, MI. 山地~低山地に普通に分布する。
56. クビアカトビハムシ *Luperomorpha pryeri*  
(Baly,1874)  
lex., 茶白山, 31. VII~2. VIII. 1952, MI., 4exs., 同地, 12. VII. 1953, MI.; lex., 段戸山, 17-20. VII. 1952, YS. 山地~低山地に分布する。
57. キアシノミハムシ *Luperomorpha tenebrosa*  
(Jacoby,1885)  
2exs., 茶白山, 12. VII. 1953, MI.; 3exs., 段戸山, 9-11. VII. 1953, MI.; 5exs., 六所山, 27. V. 1953, MI. 山地~低山地に分布する。
58. キスジノミハムシ *Phyllotreta struolata*  
(Fabricius,1803)  
3exs., 岡崎, 9. VII. 1952, MI. 平野部~海岸部、畑地。場所により多産する。
59. ヒゲナガルリマルノミハムシ *Hemiyxis plagioderoides* (Motschulsky,1860)  
3exs., 段戸山, 17-19. VII. 1952, MI., lex., 同地, 9-11. VII. 1953, MI., lex., 同地, 9-11. VII. 1953, SK.; lex., 本宮山, 3. V. 1953, MI. 山地~低山地に分布する。
60. キバネマルノミハムシ *Hemiyxis flavipennis*  
(Baly,1874)  
3exs., 茶白山, 12. VII. 1953, MI.; lex., 段戸山, 17-19. VII. 1952, MI., 2exs., 同地, 9-11. VII. 1953, MI., lex., 同地, 9-11. VII. 1953, KS. 山地~低山地に分布する。
61. オオキイロマルノミハムシ *Argopus balyi*  
Harold,1878  
5exs., 茶白山, 31. VII-2. VIII. 1952, MI., 2exs., 同地, 12. VII. 1953, MI.; 2exs., 段戸山, 17-19. VII. 1952, MI., lex., 同地, 9-11. VII. 1953, MI.; 5exs., 阿寺, 13. VII. 1952, MI. 山地~低山地に分布する。
62. アカイロマルノミハムシ *Argopus punctipennis*  
(Motschulsky,1853)  
lex., 段戸山, 9-11. VII. 1953, MI. 山地~低山地に分布する。
63. キイロタマノミハムシ *Sphaeroderma unicolor*  
Kimoto,1965  
lex., 段戸山, 13. VII. 1952, MI., lex., 同地, 17-19. VII. 1952, HI., 2exs., 同地, 9-11. VII. 1953, HS.; lex., 本宮山, 3. V. 1953, MI. 山地~低山地に分布する。
64. アケビタマノミハムシ *Sphaeroderma akebiae*  
Ohno,1967  
lex., 茶白山, 31. VII~2. VIII. 1952, MI.; lex., 段戸山, 17-19. VII. 1952, MI., 2exs., 同地, 9-11. VII. 1953, MI. 山地~低山地に分布する。
65. ムネアカタマノミハムシ *Sphaeroderma placidum* Harold,1877  
lex., 茶白山, 31. VII~2. VIII. 1952, MI., lex., 同地, 31. VII. 1952, SI., lex., 同地, 12. VII. 1953, MI.; lex., 段戸山, 17-19. VII. 1952, MI., lex., 同地, 9-11. VII. 1953, MI., lex., 同地, 9-11. VII. 1953, HS. 山地に分布する。
66. ツマキタマノミハムシ *Sphaeroderma apicale* Baly,1874  
lex., 段戸山, 11. VII. 1952, HÔ.; lex., 阿寺, 13. VII. 1952, MI. 山地~低山地に分布する。
67. オオキイロノミハムシ *Asiolestia obscuritarsis* (Motschulsky,1859)  
lex. 段戸山, 17-19. VII. 1952, MI., lex., 同地, 17-19. VII. 1953, HÔ. 大山地~低山地に分布する。
68. クビボソトビハムシ *Pseudoliprus hirtus*  
(Baly,1874)  
3exs., 茶白山, 12. VII. 1953, MI.; lex., 段戸山, 17-19. VII. 1952, MI., 2exs., 同地, 9-11. VII. 1953, MI. 山地~低山地、島嶼に分布する。
69. キイチゴトビハムシ *Chaetocnema discreta*  
(Baly,1877)

2exs., 岡崎, 25. VII. 1953, MI. ; lex., 矢作, 26. IX. 1953, MI. 低山地に分布する。

70. ナスナガスネトビハムシ *Psylliodes angusticollis* Baly,1874

1ex., 下山, 4. VII. 1952, MI.; lex., 常盤, 24. V. 1953, HI.; 2exs., 岡崎, 9. X. 1952, MI., 2exs., 同地, 24. VI. 1953, MI.; 3exs., 矢作, 3. XII. 1953, MI. ほぼ全域に分布する。

71. ルリマルノミハムシ *Nonarthra cyanea* Baly,1874

2exs., 段戸山, 17-19. VII. 1952, MI., 1ex., 同地, 9-11. VII. 1953, MI.; 2exs., 六所山, 27. V. 1953, MI., 2exs. ; 阿寺, 13. VII. 1952, MI.; lex., 本宮山, 3. V. 1953, MI.; lex., 岡崎, 5. V. 1952, MI. ほぼ全域に分布する。

72. コマルノミハムシ *Nonarthra tibialis* Jacoby,1885

1ex., 本宮山, 3. V. 1953, MI. 山地~低山地に分布する。

トゲハムシ亜科 Hispinae

73. カタピロトゲハムシ *Dactylispa subquadrata* (Baly,1874)

1ex., 岡崎, 1. V. 1953, MI. 里山に分布する。

74. ヒメキベリトゲハムシ *Dactylispa angulosa* (Solsky,1872)

1ex., 茶白山, 29. VII-2. VIII. 1952, MI.; lex. 阿寺, 13. VII. 1952, MI. 山地に分布する。

75. キベリトゲハムシ *Dactylispa masonii* (Gestro,1923)

1ex., 茶白山, 31. VII~2. VIII. 1952, MI.; 2exs., 阿寺, 13. VII. 1952, MI.; lex., 本宮山, 3. V. 1953, MI.; lex., 六所山, 27. V. 1953, MI. 山地~低山地、佐久島に分布する。

76. クロルリトゲハムシ *Rhadinosa nigrocyanea* (Motschulsky,1861)

1ex., 段戸山, 9-11. VII. 1953, MI. 奥三河山地、西三河低山地に分布する。

カメノコハムシ亜科 Cassidinae

77. カメノコハムシ *Cassida nebulosa* Linnaeus,1758

3exs., 岡崎, 22. VII. 1952, MI. 平野部、島嶼に分布する。

78. ヒメジンガサハムシ *Cassida fuscorufa* Motschulsky,1866

1ex., 段戸山, 17-20. VII. 1952, YS.; lex., 岡崎, 22. VII. 1952, MI. 全域に分布する。

79. セモンジンガサハムシ *Cassida versicolor* (Boheman,1855)

1ex., 茶白山, 12. VII. 1953, MI.; 2exs., 三河川合, 4. VIII. 1953, MI.; lex., 本宮山, 31. V. 1952, HÖ. 山地~低山地に分布する。

80. コガタカメノコハムシ *Cassida vespertina* Boheman,1862

1ex., 茶白山, 31. VII-2. VIII. 1952, MI.; lex., 段戸山, 22. VI. 1952, HS.; lex., 本宮山, 31. V. 1952, HÖ., 1ex., 同地, 3. V. 1953, MI. 山地に分布する。

81. ルイスジンガサハムシ *Thlaspidia lewisii* (Baly,1874)

1ex., 茶白山, 31. VII~2. VIII. 1952, MI. 山地~弓張山地に分布する。

82. イチモンジカメノコハムシ *Thlaspidia cribrrosa* (Boheman,1855)

1ex., 段戸山, 17-19. VII. 1952, MI.; lex., 本宮山, 3. V. 1953, MI. 低山地に分布する。

まとめ

1. 記録した種類数

9亜科82種を記録したクビボソハムシ亜科、ツツハムシ亜科のものは皆無であった。今のところ別途に保管されていると思われるが不明である。もし、これらが加われば100種以上になるものと思われる。今回記録した総数は現在の愛知県から記録されているハムシ類の約3分の1である。

2. ハムシ相の変化

今回、標本の記録にあたり、当初の最大の関心事であった年月の経過に伴うハムシ相の変化についてであるが、この結果は意外ともいえるもので

あった。つまり、当時からの自然環境の変化が多量なりともあったにもかかわらず、ほぼ全種については、おおむね現在と同様の地域にみられるものであった。このなかで唯一注目されるのは、ハバビロコブハムのみである。

### おわりに

今回、このような機会を通して当時のハムシ相と比較できたことにより、前述のような意外な一面を知ることができた。標本が持つ価値のひとつである。これを機に、標本は大切に後世に残す意義を痛感した。

### 文 献

1. 林 匡夫・森本 桂・木元新作 (1984) 原色日本昆虫図鑑 (IV)。保育社。

2. 神谷一男 (1956) 南知多・渥美・蒲郡地方に産する昆虫類。三河湾国定公園調査報告50-61。
3. 木元新作・滝沢春雄 (1994) 日本産ハムシ類成虫・幼虫分類図説。東海大学出版会。
4. 環境庁自然保護局野生生物課 (1995) 日本野生生物目録 (無脊椎動物編II)。自然環境研究センター。
5. 山崎隆弘・穂積俊文 (1990) 愛知県のハムシ科。愛知県の昆虫 (上) : 434-460。

## 豊田市南部地域におけるタママシの記録

城 殿 浩

筆者は、「三河の昆虫」54号:654-655 (2006) に、岡崎市北部を含むこれらの地域からナガタママシ属の種の記録を報告したが、他の属の種で記録の少ない種を採集しているので、ここに記録する。

### 1. クロマダラタママシ

*Nipponobuprestis queceti* (E. Sunders)

標本: 1ex., 豊田市九久平町, 18-VI-2005, 城殿採集。

衰弱したエノキの樹幹を歩行中の採集した。この近くでは岡崎市奥殿町から記録されている。

### 2. クロホシタママシ

*Ovalisia virgata* (Motschulsky)

標本: 1ex., 豊田市九久平町, 2-VI-2007, 城殿採集。

伐採されたコナラ材にて得た。豊田市では他に猿投山, 力石町, 山中町, 東中金, 京ヶ峰から記録さ

れている。

### 3. フチドリヒメヒラタタママシ

*Anthaxia primorjensis* Obernberger

標本: 1ex., 豊田市加茂川町, 29-IV-2006, 城殿採集。

アベマキをスイーピングして採集した。豊田市では他に猿投山, 中垣内町で記録されている。

### 参考文献

- 蟹江 昇ほか (2005) 豊田市自然環境基礎調査報国書 (資料編) (昆虫類:甲虫目) 161-236. (豊田市)
- 穂積俊文ほか (1990) 愛知県の昆虫 (上) : 1-506. (愛知県)



# 三河港造成地のカメムシ目

浅岡孝知

三河湾周辺の沿岸はこれまでにほとんどが埋め立てられた経緯がある。豊橋市の発行しているポートマップ (2006) により、これらの地域を北からA蒲郡地区、B蒲郡大塚地区、C御津地区、D神野地区、E明海・船渡地区、F田原地区の6地区の埋め立て地を調査することにした。

1 調査の動機は、特異な地形と南方系の種の確認に適するところであることからである。これまでも、ミスジキイロテントウムシやオグラカバイロコメツキなどが確認されている。

2 調査期間は2006~2007が主であるが、それ以前の試料についても加えている。

3 調査地点の様子は次の通りである。

A蒲郡地区・亀岩：かつては海の中で島として位置していたが、埋め立て後陸地続きとなる。下草も刈られるなどきれいにされている。古い樹木が茂り神社などが存在した形跡が見られる。

B蒲郡大塚地区・ラグーナ海陽町前浜：ラグーナ蒲郡の浜に展開する地域であり、葦の群落があり、特異な植生が見られる。しかし適宜刈り取られてしまっている。

C御津地区・御幸浜公園・安礼の崎・佐脇浜：タブの木など特定の植栽が展開している。海浜の植物に依存する種が得られる。一部豊橋市新西浜町が位置し、樹木は単純である。

D豊橋神野地区・運動公園：スポーツ施設周辺の公園や池があるが整備されている。

E豊橋明海・船渡地区・工場団地であり、グリーンベルト的に単純な樹木が植栽されている。近くに埋め立て地の豊橋市杉山町中藻が位置し、畑主体となっている。

F田原地区・白谷海岸：一部工場が立地しているがほとんど荒地となっている。田原ふ頭までを含んでいる。

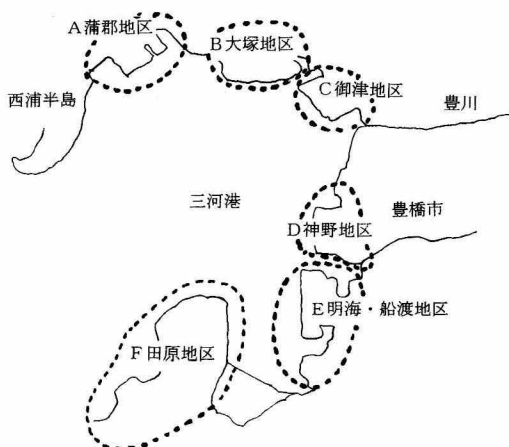


図1 三河湾周辺の埋め立て地区

4 調査方法 主にビーティング法により採集している。一部鳴き声を含めている。

5 調査結果 これまでに得られた試料をまとめてみたのが下記の目録である。

## 目録

(同翅目)

ヒシウンカ科Cixiidae

1) ヒシウンカ *Pentastiridius apicalis* (Uhler,1896)

調査標本：蒲郡市海陽町前浜,18-VI-2006.1ex.

2) ヨスジヒシウンカ

*Reptalus quadricinctus* Matsumura,1914

調査標本：田原市緑ヶ浜,25-VI-2006.1ex.

ウンカ科Delphacidae

1) セジロウンカ *Sogatella furcifera*

(Horvath,1899)

調査標本：豊橋市神野新田町,10-IX-2006.1ex.

2) テラウチウンカ *Terauchiana singularis*

Matsumura,1915

調査標本：豊橋市神野西ふ頭,4-XI-2007.1ex.

浅岡孝知 (1999) に豊橋市新西浜町、浅岡孝知 (2005) に蒲郡市海陽町での記録がある。

3) コブウンカ *Tripidocephala brunneipennis*

Signoret, 1860

浅岡孝知 (2005) に蒲郡市海陽町での記録がある。

グンバイウンカ科 *Tropiduchidae*

1) ヒラタグンバイウンカ *Ossoides lineatus*

Bierman, 1910

調査標本：御津町御幸浜, 10-IX-2006.1ex. 御津町佐脇浜, 24-IX-2007.1ex. 13-X-2007.1ex.: 豊橋市新西浜町, 24-IX-2007.1ex.: 田原市白谷海岸, 28-X-2006.1ex.

浅岡孝知 (1999) に豊橋市新西浜町での記録がある。

アオバハゴロモ科 *Flatidae*

1) アオバハゴロモ *Geisha distinctissima*

(Walker, 1858)

調査標本：蒲郡市亀岩, 24-IX-2007.1ex.

2) トビイロハゴロモ *Mimophantia maritima*

Matsumura, 1900

調査標本：御津町御幸浜, 10-IX-2006.1ex. 御津町佐脇浜, 24-IX-2007.1ex.: 田原市白谷海岸, 28-X-2006.1ex.

浅岡孝知 (1999) に豊橋市新西浜町での記録がある。

ハゴロモ科 *Ricaniidae*

1) ベッコウハゴロモ *Orosanga japonicus*

(Melichar, 1898)

調査標本：御津町御幸浜, 10-IX-2006.1ex.

セミ科 *Cicadidae*

1) ツクツクボウシ *Meimuna opalifera*

(Walker, 1850)

調査標本：蒲郡市亀岩, 24-IX-2007. 鳴き声: 御津町佐脇浜, 24-IX-2007. 鳴き声: 豊橋市新西浜町, 24-IX-2007. 鳴き声.

アワフキムシ科 *Aphrophoridae*

1) マツアワフキ *Aphrophora flavipes*

Uhler, 1896

調査標本：豊橋市神野ふ頭, 25-VI-2006.1ex.

2) ハマベアワフキ *Aphrophora maritima*

Matsumura, 1903

調査標本：御津町佐脇浜, 24-IX-2007.1ex.: 豊橋市杉山町中藻, 6-XI-2005.1ex. 3-VI-2007.1ex. 13-X-2007.1ex.: 田原市緑ヶ浜, 25-VI-2006.1ex.: 田原市白谷海岸, 28-X-2006.1ex.: 田原市田原ふ頭, 4-XI-2007.1ex.

浅岡孝知 (1999) に豊橋市新西浜町での記録がある。

3) ヒメモンキアワフキ *Tabiphora rugosa*

(Matsumura, 1903)

調査標本：御津町佐脇浜, 26-V-2007.1ex.

マルウンカ科 *Issidae*

1) マルウンカ *Gergithus variabilis*

(Butler, 1875)

浅岡孝知 (2005) に蒲郡市海陽町での記録がある。

アオズキンヨコバイ科 *Iassidae*

1) ヒメアオズキンヨコバイ *Batracomorpha*

*diminutus* (Matsumura, 1912)

調査標本：御津町佐脇浜, 13-X-2007.1ex.: 豊橋市神野西ふ頭, 4-XI-2007.1ex.: 田原市笠山周辺, 6-XI-2005.1ex.: 田原市田原ふ頭, 4-XI-2007.1ex.

2) アオズキンヨコバイ *Batracomorpha mundus*

(Matsumura, 1912)

浅岡孝知 (2005) に蒲郡市海陽町での記録がある。

クロヒラタヨコバイ科 *Penthimiidae*

1) クロヒラタヨコバイ *Penthimia nitida*

Lethierry, 1876

浅岡孝知 (1999) に豊橋市新西浜町での記録がある。

ヒラタヨコバイ科 *Aphrodidae*

1) クロサジヨコバイ *Planaphrodes nigricans*

(Matsumura, 1912)

浅岡孝知 (1999) に豊橋市新西浜町での記録がある。

オオヨコバイ科 *Cicadellidae*

1) ツマグロオオヨコバイ *Bothrogonia ferruginea*

(Fabricius, 1787)

調査標本：御津町御幸浜, 22-IV-2006.1ex.

ヨコバイ科 *Deltocephalidae*

1) トガリヨコバイ *Doratulina producta*

(Matsumura, 1902)

浅岡孝知 (2005) に蒲郡市海陽町での記録がある。

(異翅目)

カスミカメムシ科 *Miridae*

1) ナカグロカスミカメ *Adelphocoris suturalis*

(Jakovlev, 1882)

調査標本：蒲郡市海陽町, 19-IX-2004.1ex. (山崎)

- 2) アカスジカスミカメ *Stenotus rubrovittatus* (Matsumura, 1913)  
調査標本: 豊橋市神野新田町, 10-IX-2006.1ex.: 豊橋市杉山町中藻, 13-X-2007.1ex.: 田原市笠山周辺, 6-XI-2005.1ex.: 田原市田原ふ頭, 4-X I -2007.1ex.
- 3) ウスモンミドリカスミカメ *Taylorilygus apicalis* (Fieber, 1861)  
調査標本: 豊橋市神野西ふ頭, 4-X I -2007.1ex.: 豊橋市杉山町中藻, 6-XI-2005.1ex.: 田原市白谷海岸, 28-X-2006.1ex.
- 5) コアオカスミカメ *Apolygus lucorum* (Meyer-Dur, 1843) 調査標本: 田原市田原ふ頭, 4-XI-2007.1ex.
- 4) フタトゲムギカスミカメ *Stenodema (Brachystira) calcarata* (Fallen, 1807) 調査標本: 蒲郡市海陽町前浜, 6-IX-2004.1ex. (山崎) , 24-IX-2007.1ex.: 豊橋市神野西ふ頭, 4-X I -2007.1ex.: 豊橋市杉山町中藻, 13-X-2007.1ex.: 田原市田原ふ頭, 4-X I -2007.1ex.
- 5) イネホソミドリカスミカメ *Trigonotylus caelestialium* (Kirkaldy, 1902)  
調査標本: 豊橋市神野新田町, 10-IX-2006.1ex.
- マキバサシガメ科 *Nabidae*
- 1) ハネナガマキバサシガメ *Nabis stenoferus* Hsiao, 1964  
調査標本: 蒲郡市海陽町前浜, 24-IX-2007.2exs.: 豊橋市神野新田町, 10-IX-2006.1ex.  
浅岡孝知 (2005) に蒲郡市海陽町での記録がある。
- ハナカメムシ科 *Anthocoridae*
- 1) クロハナカメムシ *Anthocoris japonicas* Poppius, 1909  
調査標本: 御津町御幸浜, 22-IV-2006.1ex.
- グンバイムシ科 *Tingidae*
- 1) アワダチソウグンバイ *Corythucha marmorata* (Uhler, 1789)  
調査標本: 蒲郡市海陽町前浜, 18-VI-2006.1ex. 21-V-2007.2exs. 24-IX-2007.2exs. 御津町佐脇浜, 24-IX-2007.4exs. 13-X-2007.1ex.: 豊橋市神野新田町, 10-IX-2006.1ex.: 豊橋市杉山町中藻, 13-X-2007.1ex.
- サシガメ科 *Reduviidae*
- 1) トゲサシガメ *Polididus armatissimus* Stal, 1859  
調査標本: 蒲郡市海陽町前浜, 18-VI-2006.2exs.: 豊橋市杉山町中藻, 21-IV-2005.1ex. (山崎)  
浅岡孝知 (2006) に豊橋市杉山町中藻での記録がある。
- 2) マダラカモドキサシガメ *Empicoris rubromaculatus* (Blackburn, 1889)  
浅岡孝知 (1999) に豊橋市新西浜町での記録がある。
- イトカメムシ科 *Berytidae*
- 1) イトカメムシ *Yemma exilis* Horvath, 1905  
調査標本: 蒲郡市亀岩, 24-IX-2007.2exs.
- ナガカメムシ科 *Lygaeidae*
- 1) ヒメジュウジナガカメムシ *Tropidothorax belogolowi* (Jakovlev, 1890)  
調査標本: 豊橋市神野新田町ヤノ割, 24-V-2005.1ex. (山崎) : 豊橋市杉山町中藻, 21-IV-2005.1ex. (山崎) 13-X-2007.1ex.
- 2) ヒメナガカメムシ *Nysius plebejus* Distant, 1883  
調査標本: 蒲郡市亀岩, 24-IX-2007.1ex.: 蒲郡市海陽町前浜, 19-IX-2004.1ex. (山崎) , 18-VI-2006.1ex. 21-V-2007.1ex. 24-IX-2007.1ex.: 豊橋市新西浜町, 24-IX-2007.1ex.: 豊橋市神野新田町, 10-IX-2006.1ex.: 豊橋市神野西ふ頭, 4-X I -2007.1ex.: 豊橋市杉山町中藻, 6-XI-2005.1ex. 13-X-2007.1ex.: 田原市笠山周辺, 6-XI-2005.1ex.: 田原市田原ふ頭, 4-X I -2007.1ex.  
浅岡孝知 (1999) に豊橋市新西浜町で、浅岡孝知 (2005) に蒲郡市海陽町での記録がある。
- 3) ヒメヒラタナガカメムシ *Cymus aurescence* Distant, 1883  
調査標本: 蒲郡市海陽町前浜, 24-IX-2007.2exs.
- 4) コバネナガカメムシ *Dimorphopterus pallipes* (Distant, 1883)  
調査標本: 豊橋市神野新田町, 10-IX-2006.1ex. 豊橋市杉山町中藻, 15-V-2005.1ex. (山崎) , 3-VI-2007.2exs. 13-X-2007.1ex.
- 5) ヒメオオメナガカメムシ *Geocoris proteus* Distant, 1883  
調査標本: 御津町御幸浜, 10-IX-2006.1ex.: 蒲郡市海陽町前浜, 24-IX-2007.1ex.: 田原市緑ヶ浜, 25-VI-2006.1ex.

浅岡孝知(1999)に豊橋市新西浜町での記録がある。

6) オオメナガカメムシ *Piocoris varius*

(Uhler,1860)

調査標本:御津町御幸浜,10-IX-2006.1ex.:御津町佐脇浜,13-X-2007.1ex.

7) ヒゲナガカメムシ *Pachygrontha antennata*

(Uhler,1860)

調査標本:豊橋市新西浜町,27-V-2005.1ex.(山崎)

8) クロスジヒゲナガカメムシ

*Pachygrontha similis* Uhler,1896

調査標本:御津町御幸浜,10-IX-2006.1ex.

9) マツヒラタナガカメムシ

*Gastrodes grossipes japonicus* (Stal,1874)

調査標本:蒲郡市海陽町,6-IX-2004.1ex.(山崎)

10) キベリヒョウタンナガカメ

*Paraparomius lateralis* (Scott,1874)

調査標本:御津町佐脇浜,24-IX-2007.2exs.:豊橋市新西浜町,24-IX-2007.1ex.:豊橋市神野新田町,28-X-2006.1ex.

11) アカアシホソナガカメムシ

*Paromius pallidus* (Montrouzier,1864)

調査標本:御津町安礼の崎,27-V-2005.1ex.(山崎);御津町佐脇浜,24-IX-2007.3exs. 13-X-2007.1ex.:豊橋市神野ふ頭,25-VI-2006.1ex. 10-IX-2006.1ex.:豊橋市杉山町中藻,6-XI-2005.1ex.13-X-2007.1ex.

12) ヨツボシヒョウタンナガカメムシ

*Eucosmetus pallicornis* (Dallas,1852)

浅岡孝知(2005)に蒲郡市海陽町での記録がある。

メダカナガカメムシ科 *Malcidae*

1) メダカナガカメムシ *Chauliops fallax* Scott,1874

調査標本:御津町御幸浜,10-IX-2006.1ex.:豊橋市杉山町中藻,6-XI-2005.1ex.

ホシカメムシ科 *Pyrhocoridae*

1) フタモンホシカメムシ

*Pyrhocoris sibiricus* Kuschakewitsch,1867

調査標本:蒲郡市海陽町,19-IX-2004.1ex.(山崎).20-IX-2004.1ex.(山崎);御津町佐脇浜,13-X-2007.1ex.:田原市笠山周辺,6-XI-2005.1ex.

オオホシカメムシ科 *Largidae*

1) ヒメホシカメムシ

*Physopelta parviceps* Blöere,1931

調査標本:御津町御幸浜,23-V-2005.1ex.(山崎)

豊橋市杉山町中藻,3-VI-2007.1ex.

浅岡孝知(1999)に豊橋市新西浜町での記録がある。

2) オオホシカメムシ *Physopelta gutta*

(Burmeister,1834)

調査標本:御津町御幸浜,23-V-2005.1ex.(山崎)

ホソヘリカメムシ科 *Alydidae*

1) クモヘリカメムシ *Leptocoris chinensis*

(Dallas,1852)

調査標本:蒲郡市亀岩,24-IX-2007.1ex.:蒲郡市海陽町前浜,24-IX-2007.1ex.:豊橋市杉山町中藻,6-XI-2005.1ex.13-X-2007.1ex.:田原市笠山周辺,6-XI-2005.1ex.

2) ホソヘリカメムシ *Riptortus pedestris*

(Fabricius,1775) 田原市田原ふ頭,4-XI-2007.1ex.

ヘリカメムシ科 *Coreidae*

1) ホウズキカメムシ *Canthocoris sordidus*

(Thunberg,1783)

調査標本:田原市伊川津貝ノ浜,30-IV-2005.1ex.(山崎)

2) ホソハリカメムシ *Cletus punctiger*

(Dallas,1852)

調査標本:豊橋市神野新田町,10-IX-2006.1ex.:豊橋市杉山町中藻,6-XI-2005.1ex.3-VI-2007.1ex.13-X-2007.1ex.

浅岡孝知(1999)に豊橋市新西浜町での記録がある。

3) ホシハラビロヘリカメムシ

*Homoeocerus unipunctatus* (Thunberg,1783)

調査標本:御津町御幸浜,10-IX-2006.1ex.:豊橋市神野新田町,10-IX-2006.1ex.

4) ハラビロヘリカメムシ

*Homoeocerus dilatatus* Horvath,1879

浅岡孝知(2005)に蒲郡市海陽町での記録がある。

5) ツマキヘリカメムシ *Hygia (Hygia) opaca*

(Uhler,1860)

調査標本:御津町佐脇浜,26-V-2007.1ex.,24-IX-2007.1ex.:豊橋市新西浜町,27-V-2005.1ex.(山崎):豊橋市杉山町中藻,3-VI-2007.1ex.:田原市緑ヶ浜,30-

- IV-2005.1♂1♀:田原市伊川津貝ノ浜,30-IV-2005.lex. (山崎)
- 6) キバラヘリカメムシ *Plinactus bicoloripes* Scott,1874  
調査票本:御津町御幸浜,22-IV-2006.lex.  
ヒメヘリカメムシ *Rhopalidae*
- 1) ブチヒゲヘリカメムシ  
*Stictopleurus punctatonervosus* (Goeze,1773)  
調査標本:蒲郡市海陽町,6-IX-2004.lex. (山崎):豊橋市杉山町中藻,3-VI-2007.lex.:豊橋市神野新田町,28-X-2006.lex.:豊橋市杉山町中藻,6-XI-2005.lex.:田原市笠山周辺,6-XI-2005.lex.:田原市白谷海岸,28-X-2006.lex.:田原市田原ふ頭,4-X I -2007.lex.  
浅岡孝知 (2005) に蒲郡市海陽町での記録がある。
- 2) アカヒメヘリカメムシ *Rhopalus (Aeschynteles) maculatus* (Fieber,1836)  
調査標本:豊橋市神野西ふ頭,4-X I -2007.lex.:豊橋市杉山町中藻,6-XI-2005.2exs.  
マルカメムシ科 *Plataspidae*
- 1) ヒメマルカメムシ  
*Coptosoma biguttulum* Motschulsky,1859  
調査標本:豊橋市明海町,26-IV-1998.lex. (山崎)
- 2) マルカメムシ *Megacopta punctatissima* (Montandon,1894)  
調査標本:蒲郡市亀岩,24-IX-2007.lex.:蒲郡市海陽町前浜,6-IX-2004.lex. (山崎),21-V-2007.lex.:24-IX-2007.lex.:御津町御幸浜,10-IX-2006.lex.:御津町佐脇浜,26-V-2007.lex.:13-X-2007.lex.:豊橋市新西浜町,24-IX-2007.lex.:豊橋市神野ふ頭,25-VI-2006.lex.:豊橋市杉山町中藻,21-IV-2005.lex. (山崎),6-XI-2005.lex.:3-VI-2007.lex.:13-X-2007.lex.:田原市白谷海岸,28-X-2006.lex.:3-VI-2007.lex.:田原市田原ふ頭,4-X I -2007.lex.  
浅岡孝知 (1999) に豊橋市新西浜町での記録がある。
- カメムシ科 *Pentatomidae*
- 1) アカスジカメムシ *Graphosoma rubrolineatum* (Westwood,1873)  
調査標本:豊橋市神野ふ頭町,5-VII-2005. (山崎)
- 2) オオクロカメムシ  
*Scotinophara horvathi* Distant,1883
- 浅岡孝知 (1999) に豊橋市新西浜町での記録がある。
- 3) イネクロカメムシ  
*Scotinophara lurida* (Burmeister,1834)  
調査標本:豊橋市杉山町中藻,15-V-2005.lex. (山崎)
- 4) ヒメクロカメムシ  
*Scotinophara scotti* Horvath,1879  
調査標本:豊橋市杉山町中藻,11-VI V-1998.lex. (山崎),22-IV-2006.lex.
- 5) ウズラカメムシ *Aelia fieberi* Scott,1874  
調査標本:御津町御幸浜,10-IX-2006.lex.
- 6) ウシカメムシ  
*Alcimocoris japonensis* (Scott,1880)  
調査標本:御津町御幸浜,23-V-2005.lex. (山崎)
- 7) ブチヒゲカメムシ *Dolycoris bacalum* (Linnaeus,1758)  
調査標本:蒲郡市海陽町,19-IX-2004.2exs. (山崎):豊橋市神野新田町,10-IX-2006.lex.:田原市笠山周辺,6-XI-2005.lex.  
浅岡孝知 (2005) に蒲郡市海陽町での記録がある。
- 8) ナガメ *Eurydema rugosa* Motschulsky,1861  
調査標本:豊橋市神野新田町 (中州島),30-IV-1995.6exs. (山崎):豊橋市神野新田町 (陸上公園),5-VII-2005.3exs. (山崎)  
浅岡孝知 (1999) に豊橋市新西浜町での記録がある。
- 9) トゲシラホシカメムシ  
*Eysarcoris aeneus* Scopoli,1763  
調査標本:蒲郡市海陽町前浜,6-IX-2004.lex. (山崎),20-IX-2004.2exs. (山崎),21-V-2007.lex.:豊橋市杉山町中藻,21-IV-2005.lex. (山崎),24-V-2005.lex. (山崎):豊橋市杉山町中藻,6-XI-2005.lex.
- 10) ムラサキシラホシカメムシ  
*Eysarcoris annamita* Breddin,1913  
調査標本:田原市笠山周辺,6-XI-2005.lex.
- 11) マルシラホシカメムシ *Eysarcoris guttiger* (Thunberg,1773)  
調査標本:蒲郡市海陽町前浜,18-VI-2006.lex.:御津町佐脇浜,17-IV-2005.lex. (山崎),24-IX-2007.3exs.:

御津町安礼ノ崎,24-VI-2005.1ex. (山崎):豊橋市新西浜町,24-VI-2005.1ex. (山崎):豊橋市神野新田町,10-IX-2006.1ex.:豊橋市杉山町中藻,6-XI-2005.1ex.13-X-2007.1ex.:田原市緑ヶ浜,25-VI-2006.1ex.:田原市伊川津貝ノ浜,30-IV-2005.1ex. (山崎)

12) シラホシカメムシ *Eysarcoris ventralis* (Westwood,1837)

調査標本:蒲郡市海陽町前浜,24-IX-2007.2exs.:豊橋市杉山町中藻,6-XI-2005.1ex.13-X-2007.1ex.:田原市笠山周辺,6-XI-2005.1ex.:田原市白谷海岸,28-X-2006.1ex.

13) ツヤアオカメムシ

*Glaucias subpunctatus* Walker,1867

調査標本:御津町安礼ノ崎,22-IV-2006.1ex.

浅岡孝知(1999)に豊橋市新西浜町での記録がある。

14) クサギカメムシ *Halyomorpha picus* (Fabricius,1794)

調査標本:御津町御幸浜,22-IV-2006.1ex.15)

15) アオクサカメムシ *Nezara antennata* Scott,1874

調査標本:豊橋市杉山町中藻,6-XI-2005.2exs. 浅岡孝知(2005)に蒲郡市海陽町での記録がある。

16) ミナミアオカメムシ *Nezara vividula* (Linnaeus,1758)

調査標本:豊橋市神野新田町,10-IX-2006.1ex.:豊橋市杉山町中藻,13-X-2007.1ex.

浅岡孝知(2006)に豊橋市杉山町中藻での記録がある。

17) イチモンジカメムシ *Piezodorus hybneri* (Gmelin,1789)

調査標本:蒲郡市海陽町,19-IX-2004.4exs. (山崎),20-IX-2004.1ex. (山崎),6-IX-2004.1ex. (山崎),3-VII-2005.1ex. (山崎):御津町御幸浜,10-IX-2006.1ex.:豊橋市杉山町中藻,6-XI-2005.1ex. 浅岡孝知(1999)に豊橋市新西浜町で、浅岡孝知(2005)に蒲郡市海陽町での記録がある。

18) チャバネアオカメムシ

*Plautia crossota stali* Scott,1874

調査標本:蒲郡市海陽町,19-IX-2004.1ex. (山崎):蒲郡市亀岩,21-V-2007.1ex.:御津町安礼ノ崎,22-IV-

2006.1ex.:御津町御幸浜,22-IV-2006.1ex.:豊橋市神野ふ頭,25-VI-2006.1ex.:豊橋市明海ふ頭,25-VI-2006.1ex.

浅岡孝知(1999)に豊橋市新西浜町での記録がある。

エビイロカメムシ科 *Phyllocephalidae*

1) エビイロカメムシ *Gonopsis affinis* (Uhler,1860)

調査標本:御津町佐脇浜,13-X-2007.1ex.

ツノカメムシ科 *Acanthosomatidae*

1) セアカツノカメムシ

*Acanthosoma denticauda* Jakovlev,1880

調査標本:御津町御幸浜,22-IV-2006.1ex.

2) ベニモンツノカメムシ

*Elasmotethus humeralis* Jakovlev,1883

調査標本:御津町御幸浜,22-IV-2006.1ex.:豊橋市明海町,11-VI-1998.1ex. (山崎)

3) エサキモンキツノカメムシ

*Sastragala esakii* Hasegawa,1959

調査標本:御津町御幸浜,22-IV-2006.1ex.

6 まとめ

今回の調査と過去に採集された試料を合わせて、同翅目12科20種、異翅目17科62種であった。カメムシ目全体としては、29科82種である。それぞれの地区の確認種数は、A:蒲郡地区亀岩 6科6種・B:蒲郡大塚地区 16科27種・C:御津町地区 22科39種・D:豊橋神野地区 11科24種・E:豊橋明海・船渡地区 12科28種・F:田原地区12科20種である。地区別では、樹木を有している御津町地区にツノカメムシ科の種が見いだされ、植物とのリンクがはっきりとした形で現れている。ただし、公園化された樹木はタブノキなどであり単一種が多産することが確認されている。造成の経過年数とそれを取り巻く環境、とりわけ植物が大きく関与していることが分かる。この中では、海浜性種としてハマベアワフキ・ヒメオオメカメムシなどが確認されている。防波堤などで閉じこめられた環境であるので海浜性のツチカメムシ科の種を見いだしていない。また、トゲサシガメ・ミナミアオカメムシ・アワダチソウゲンバイなど近年分布域を広げている種が確認され

ている。特にトゲサシガメは、近年各地の湿地周辺で確認されてきているが、ここでの個体数は際だっている。埋め立て地内での調査は3年目ぐらいから草原や低木などが繁茂し始めてきて興味深いものがある。しかし、調査地域は人工的に造成されていて、その後刈り取られるなどの管理もされることになることから環境が一変することもある。昆虫類の発生と定着に興味を持ちつつ、海浜性の種ばかりか南方系の種の確認にも目を向けたところ、観察に適したところと言える。その傾向はコウチュウ目の方によく見られるようである。

今回の調査は一断片であり、実際には更に多くの種が生息しているものと思われるので今後も継続して見守っていききたい。末尾ではあるが、筆者

と変わらないほどの標本を見せていただいたり、調査などでお世話になったりした山崎隆弘氏に対しお礼を申し上げる。

**参考・引用文献**

- 1) 浅岡孝知ほか (1999) 豊橋市自然環境保全基礎調査報告書: 66-73. 豊橋市.
- 2) 浅岡孝知 (2005) 蒲郡市海陽町前浜 (ラグーナ蒲郡) のカメムシ類. 虫譜 (43) 2:30 (三河生物同好会).
- 3) 浅岡孝知 (2006) 三河港 (豊橋地区) でのカメムシ類2題. 虫譜 (44) 2:20. 三河生物同好会.
- 4) 豊橋市企画部 (2006) ポートマップ (豊橋市).
- 5) 山崎隆弘 (2006) 三河港造成地のハムシ相. 三河の昆虫 (53): 617-621 (三河昆虫研究会).
- 6) 山崎隆弘 (2007) 三河港臨海地のゾウムシ類. 三河の昆虫 (54) 646-649 (三河昆虫研究会)

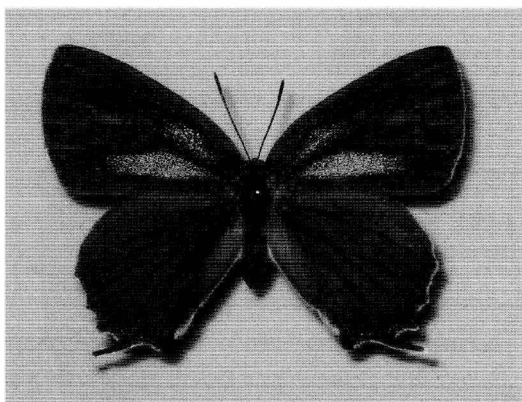
## 佐久島でミドリシジミを確認する

山本英治・柵木宗孝

2007年4月29日 (日) に、三河昆虫研究会の採集会が山崎隆弘氏の案内で佐久島で行われた。一色港から渡船して佐久島の西船着場に上陸した。この島は三河湾の島嶼の中では、自然が多く残っている島であると聞いていたので、期待をもって出かけたが、まだ時期が少し早く、モンシロチョウやヤマトシジミなどがちらほら飛んでいるだけであった。島に上陸したあと、筆者らは佐久島小・中学校の東の水田が開けている場所にハンノキが群生しているのに出会った。枝先を丹念探していたら、ミドリシジミの幼虫の巣が目にとまり、その幼虫を持ち帰って飼育したところ、1週間後に蛹になり、5月26日に図示したような雌AB型の成虫が現れた。

高橋ほか (1991) の愛知の昆虫 (下) の中には佐久島は記録がなく、山崎・浅岡 (1003) の三河湾「島の昆虫」の中にも本種の記録がないので、この島からは未記録の種と思われるのでここに記録する。この林では、あちこちに幼虫の巣が見られたので、成虫の発生期には多くの個体の乱舞が見られると思われる。終わりに、この調査で世話になった山崎隆弘氏、発表を進められた大平博士

に心から御礼申しあげる。



調査標本: 1♀, 佐久島29-IV-2007, 幼虫採集→26-V-2007, 成虫羽化 (図示した個体)。

**参考文献**

- 高橋 昭ほか (1991) 愛知県のチョウ類・愛知の昆虫 (下): 21-95. (愛知県)
- 山崎隆弘・浅岡孝知 (1993) 三河湾・島の昆虫: 1-469.

# 岡崎市額田地区のコメツキムシの記録

大平 仁 夫

額田郡額田町地区は2006年1月に岡崎市に合併し、岡崎市額田町となった。市ではこの地域の自然環境を調べるために10地点を選んで、その昆虫・動植物類の調査を行った。この調査を担当された岩月 学氏からその間に採集されたコメツキムシ類の提供をいただいたのでここに記録する。また、若干種を筆者も採集したので、その種もここに加えた。

ここに、岩月氏の厚意に心から感謝の意を表す。採集者は岩月本人であるので、採集者名は省略したが、筆者が採集した種も少しあるので、これについては(大平)と加えた。また、地名の額田町名はは省略し、集落名のみにした。

## 種の目録

### 1. *Agrypnus (Agrypnus)*

*binodulus binodulus*

(Motschulsky, 1861)

サビキコリ

鳥川, 1♀, 4-V-07; 淡淵, 2♂  
♂3♀♀ (大平); 夏山, 1♀,  
21-VI-07; 保久, 21-VI-07.

### 2. *Agrypnus (Agrypnus)*

*mikawaensis* Ôhira, 1986

ミカワサビキコリ (図)

淡淵, 1♀, 16-V-07 (大平) .

この地域からはこれが最初の記録である。

### 3. *Limoniex eximus* (Lewis, 1894)

ムラサキヒメカネコメツキ

保久, 1♂, 28-V-07.

### 4. *Limoniciscus vittatus* (Candèze, 1873)

タテスジカネコメツキ

切山, 1♂, 27-IV-07.

### 5. *Hemicrepidius (Pseudathous) secessus secessus*

(Candèze, 1873) クロツヤハダコメツキ

淡淵, 1♂, 6-VI-07; 鳥川, 2♂♂, 20-VI-07; 夏山, 1

♂, 6-VI-07.

淡淵の山頂部に廃園になった栗園があり、ここを整備して自然公園とする予定になっている。将来は好採集地になると思われる。

### 6. *Neopristilophus serrifer serrifer*

(Candèze, 1873) アカヒゲヒラタコメツキ

夏山, 1♂, 14-V-07; 保久, 1♂, 28-V-07.

### 7. *Actenicerus kidonoi* Ôhira, 2006

サトヤマシモフリコメツキ

切山, 1♀, 3-V-07; 雨山, 2♂♂, 13-V-07 (大平);

鳥川, 1♀, 20-VI-07; 保久, 1♂1♀, 28-V-07.

三河地方産が新種の基準産地になっている種である。この地域にも分布が確認できた。

### 8. *Actenicerus pruinosus* Motschulsky, 1861

シモフリコメツキ

雨山, 1♂, 4-V-07.

### 9. *Actenicerus aerosus* (Lewis, 1879)

コガタシモフリコメツキ

切山, 1♂, 27-IV-07.

### 10. *Ampedus (Ampedus)*

*hypogastricus hypogastricus*

(Candèze, 1873) アカハラクロコメツキ

保久, 1♀, 28-V-07; 鍛埜, 1♂, 4-VI-07; 淡淵, 2♀,  
16-VI-07 (大平); 鳥川, 1♀, 20-VI-07; 夏山, 1♀,  
21-VI-07.

### 11. *Ampedus (Miwaelater) carbunculus*

(Lewis, 1879) ヒメクロコメツキ

淡淵, 1♀, 16-VI-07 (大平) .

### 12. *Villetus viridis subopacus* (Nakane, 1959)

コミドリヒメコメツキ

雨山, 1♀, 3-V-07.

### 13. *Dolerosomus gracilis* (Candèze, 1873)

キバネホソコメツキ

切山, 1♂, 27-IV-07; 夏山, 1♂, 14-V-07; 鍛埜, 1♀,  
4-VI-07; 雨山, 1♀, 11-VI-07.





14. *Ectinus sericeus sericeus* (Candèze, 1878)  
カバイロコメツキ  
切山, 1ex., 27-IV-07; 雨山, 1ex., 11-VI-07.
15. *Ectinus (Ectinoides) insignitus insignitus*  
(Lewis, 1894) ヨツキボシコメツキ  
雨山: 1♀, 11-VI-07.
16. *Parasilesis musculus musculus* Candèze, 1873  
クチプトコメツキ  
鳥川, 1ex., 20-VI-07.
17. *Melanotus (Melanotus) legatus legatus*  
Candèze, 1860 クシコメツキ  
1♂, 鳥川, 4-V-07.  
鳥川の流域はゲンジボタルの多産地として知られている。
18. *Melanotus (Melanotus) correctus correctus*  
Candèze, 1865 ヒラタククロクシコメツキ  
鳥川, 1♂, 27-IV-07; 雨山, 1♂, 27-IV-07; 鍛埜, 1♂, 4-VI-07.
19. *Melanotus (Melanotus) senilis senilis*  
Candèze, 1865 クロクシコメツキ  
保久, 1♂2♀, 28-V-07; 淡淵, 1♂1♀, 6-VI-07;  
雨山, 1♀, 11-VI-07.
20. *Melanotus (Melanotus) erythropygus*  
Candèze, 1873 コガタクシコメツキ  
雨山, 1♂1♀, 13-V-07 (大平); 夏山, 1♂, 14-V-07.
21. *Melanotus (Spheniscosomus) koikei*  
Kishii et Ôhira, 1856 ヒラタクシコメツキ  
夏山, 1♂, 14-V-07.
22. *Melanotus (Spheniscosomus) cete cete*  
Candèze, 1860 アカアシオクシコメツキ  
切山, 1♂, 4-V-07; 鳥川, 1♂2♀, 15-V-07 (大平); 淡淵, 1♀, 6-VI-07; 雨山, 1♀, 11-VI-07.
23. *Yukoana carinicolis* (Lewis, 1894)  
ヘリムネマメコメツキ  
檜山, 1♂, 28-III-07; 保久, 1♀, 12-IV-07; 鳥川, 1♂, 4-V-07.  
檜山の“おおだの森”の山頂部は桜などの植林が行われていて、森の公園作りが行われている。
24. *Paracardiophorus nakanei honndoensis*  
Ohira, 1997 ホンドコハナコメツキ  
淡淵, 1♀, 6-VI-07.
25. *Displatynychus adjutor* (Candèze, 1873)  
アカアシハナコメツキ  
鍛埜, 1ex., 4-VI-07.  
以上25種を記録したが、本宮山でもまだ50種くらいしか知られていない状態であるので、こんご機会ある度に調査を進めて、この地域の本科の分布相をより明らかにしたいと考えている。同好者のご支援もこちらからお願いしたい。

## 豊田市渡刈町の矢作川河川敷のコメツキムシ

大平 仁 夫

矢作川河川敷のコメツキムシについては、古くから断片的な記録はあるが、同定に疑問な種もあり、まとまった報告はない。筆者は愛知県のRDLリストの見直しで、豊田市の渡刈町周辺の矢作川右岸の河川敷で調査を行った折、若干の興味ある種が見出されたのでここに記録する。

本文を草するにあたり、この調査に同行して支援をいただいた三河昆虫研究会の岩月 学氏に心から御礼申しあげる。

1. *Fleutiauxellus cruciatus* (Candèze, 1873)  
ジュウジミズギワコメツキ

本種が矢作川の河川敷に分布することを最初に記録したのは大平 (1985) で、そこでは31-V、1960に採集した個体が報告されている。その種は国道1号線の矢作橋の少し上流の左岸の河川敷で、かなり多くの個体が見出された記憶がある。

最近、岩月 (2007) は岡崎市渡町と豊田市畷部町の矢作川右岸から記録しており、矢作川河川敷きでは絶滅したと思っていたので、この報告は驚

きでもあり、安堵した次第である。現在、本種が確実に分布する場所は、愛知県では他に豊川河川敷があるだけである。本種は愛知県のRDリストでは、NT（準絶滅危惧種）にランクに指定されている。

調査標本：1♀，豊田市渡刈町，1-VII，2007，大平採集。

## 2. *Fleutiauxellus yotsuboshi* (Kishii, 1976)

ヨツボシミズギワコメツキ (図B)

本種は京都府の木津川の河川敷産の個体で新種として記載された種である。愛知県内では現在のところ豊川河川敷が分布の東限にあたり、ここでは個体数は少ない。矢作川の河川敷に分布することが判明したのはこれが最初である。体長は3~4mm内外で黒色、上翅には図示したような4個の黄橙紋を有するが、この肩角部にある紋は條線に沿って後方に短く伸長しており、前胸背板上の点刻は小形である(ジュウジミズギワコメツキでは、肩角部の紋は内方に傾斜して伸長しており、前胸背板上の点刻は粗雑で密に生じる)。

調査標本：1♀，豊田市渡刈町，1-VII，2007，大平採集。

## 3. *Fleutiauxellus curatus curatus*

(Candèze, 1873) ミズギワコメツキ

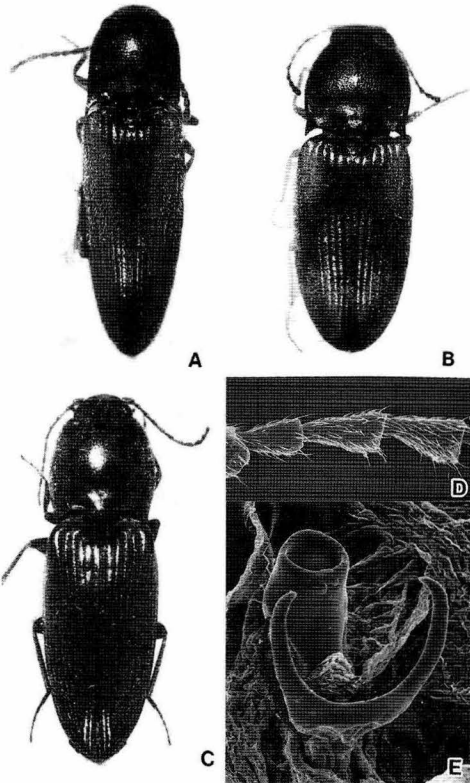
体長は4mm内外、黒色でやや扁平状を呈し、上翅は斑紋を生じない。本種は本属の種の中ではもっとも普通種で個体数も多く、各地の河川敷に広く分布している。愛知県の尾張地方では名古屋市から、三河地方では渥美半島を除いて豊橋市から北設楽地方まで各地で記録されている。岡崎市内の矢作川河川敷からは大平(1985)が記録している(23-V, 1935)。

調査標本：1♂2♀，1-VII-2007，大平採集。

## 5. *Glyphonyx dalopioides* Nakane, 1958

クロスジクチボンコメツキ (図A)

体長は5mm内外で黒色、上翅は会合線部を除いて黄橙色を呈する。また、頭部の前頭横隆線はV字形をしているのが特徴である。一般に河川敷の笹などが生えている土手の土中に幼虫が生息しているので、成虫もその周辺で見出される。愛知県では各地の河川沿いに広く分布しており、矢作川



では久永(1884)が安城市内の河川敷で、大平(1985)が矢作町(30-VI, 1982)から報告しており、最近では田中ほか(1999)が豊田市内の矢作川周辺から記録している。

調査標本：1♂，1-VII-2007，大平採集。

## 6. *Paracardiophorus opacus* (Lewis, 1894)

クロコハナコメツキ (図C-E)

本種は最初にG. Lewis(1894)によって静岡県須走から採集された1頭の標本に基づいて新種として記載された種である。この近似種が同じ地域にいるが識別は簡単ではない。本種のタイプ標本は体全体が肢も含めて黒く光沢が鈍いが、豊川や矢作川河川敷などに分布するものは、体が鈍い鉛色の光沢を有している。愛知県からは大平(2001)が豊田市旭町から、岸井(2006)が段戸裏谷から記録している。雄触角の基部節は図示したようで(図1, D)、第3節から鋸歯状をしており、第4節は第3節とほぼ等長である。雌の受精囊内にある小硬片の形態は特徴があるので、種の識別には重要であるから、解剖して調べなくてはならないので、手間がかかる(図1, E)。

調査標本：5♀♀，I-VII，2007，大平採集。

### 引用文献

- 久永和久 (1884) 安城市で採集した甲虫類5種。三河の昆虫, (31) : 168.
- 岩月 学 (2007) 矢作川流域のジュウジミズギワコメツキの生存記録。三河の昆虫, (54) : 650-651.
- 岸井 尚 (2006) 細川浩司氏蒐集の邦産のコメツキムシ。地域甲虫自然史, (2) : 1-89. (日本甲虫学会)
- 大平仁夫・長谷川道明・山崎隆弘 (1998) 新編豊川市史, 第10巻—自然資料— (第5節コウチュウ類) : 225-271. (豊川市)

- 大平仁夫 (1985) 岡崎市の動物・新編岡崎史・自然, 14 : 653-1218. (岡崎市)
- 大平仁夫 (1998) 旭町の昆虫・コメツキムシ科 : 117-124. (名古屋昆虫同好会編) (財・旭高原自然活用村協会)
- 大平仁夫 (2003) 山中洋氏採集の三河地方のコメツキムシ (2002年) . 三河の昆虫, (50) : 560-561.
- 田中 蕃・蟹江 昇・間野隆裕・有田玲子・白金晶子 (1999) 矢作川河岸 高橋～野見公園間の昆虫。矢作川研究, (3) : 35-79.

## 豊川市平尾町の糞虫類

春 田 祥 博

筆者は2007年2月から4月にかけて、愛知県豊川市平尾町において糞虫類の調査を行っているので、普通種ばかりではあるがここに記録しておきたい。

1. *Aphodius (Aparammoecius) mizo*  
ミゾムネマグソコガネ  
豊川市平尾町松ヶ入 9-II-2007.1ex, 20-II-2007.22exs [標本：2exs], 3-IV-2007.5exs, 14-IV-2007.13exs. シカ糞にも来ていたが、サル糞からは非常に多くの個体が得られた。
2. *Aphodius (Aparammoecius) isaburoi*  
チャグロマグソコガネ  
豊川市平尾町松ヶ入 14-IV-2007.2exs [標本：2exs]. シカ糞より得られた。
3. *Phelotrupes (Chromogeotrupes) auratus auratus* オオセンチコガネ  
豊川市平尾町松ヶ入 3-IV-2007.2exs [標本：1ex], 21-IV-2007.9exs [標本：1ex]. 林床を歩行・飛翔している個体を得た他、死骸も確認した。
4. *Phelotrupes (Eogeotrupes) laevistriatus*  
センチコガネ  
豊川市平尾町松ヶ入 17-IV-2007.1ex. 林床を歩行している個体を確認。
5. *Onthophagus (Phanaeomorphus) fodiens*  
フトカドエンマコガネ  
豊川市平尾町丸田 17-IV-2007.6exs [標本：

3exs]. 林縁のイヌ糞より得られた。

6. *Onthophagus (Phanaeomorphus) ater*  
クロマルエンマコガネ

豊川市平尾町松ヶ入 21-IV-2007.5exs [標本：1ex]. サル糞に集まっていた他、林床を歩行している個体も確認した。

この中で、チャグロマグソコガネについては県内では記録の少ない種のようなのである (城殿, 2001)。また、オオセンチコガネについては、戸田・明井 (2003) が県内の詳細な調査記録を残されており、豊川市では隣接する財賀町などでの記録があるが、平尾町での記録は初と思われる。

最後になるが、諸事においてお世話になった大平仁夫氏、オオセンチコガネの分布に関する記録を提供して頂いた山崎隆弘・長谷川道明両氏、そして糞虫類について日頃からご指導頂いているコガネムシ研究会の西野洋樹氏に感謝申し上げる。

### 参考文献

- 城殿浩, 2001. 愛知県とその周辺で得たチャグロマグソコガネとイシダマグソコガネについて, 三河の昆虫 48 : 516.
- 戸田尚希・明井勝治, 2003. 愛知県におけるオオセンチコガネの分布, 豊橋市自然史博研報.

# タイワントビナナフシ岡崎市に生息

岩 月 学

## 1. はじめに

タイワントビナナフシ *Sipylloidea sipylus* Westwood は、東洋熱帯地方では普通種で、雑草の葉を食し、1950年ころ鹿児島県種子島から南部地域に生息しているとされているが、1980年ころには九州北部に分布、さらに分布を広げていて、岡田正哉氏によると太平洋側の各地で点々と記録されているとのことである。体長は70~90mm、体は灰褐色~黒褐色を呈し、触角や後翅が長く、肢が細長く、飛翔力があると云われている(写真1)。

## 2. 愛知県での生息確認

本種は1995年に豊川市曙町で採集された標本を、岡田正哉氏が確認されたのが最初であり、そこでは数年前から生息が観察されていたとのことである。また、1995年に岡田氏が名古屋市内千種区内で確認されているとのことである。

東三河地方では、宝飯郡羽羽町(1988)以降に豊田市稲武町、設楽町、田原市(渥美町も含む)、豊橋市など、西三河地方では豊田市(旧豊田市)、豊川市、安城市、岡崎市(旧岡崎市の3カ所と額田地域)などで昆虫類の調査が行われているが、本種は記録されていない。

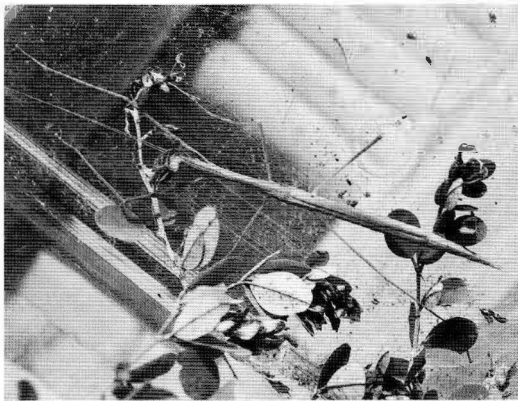


写真1. タイワントビナナフシの成虫

## 3. 岡崎市での生息確認

筆者は2007年10月12日に、岡崎市八ツ木町で2頭

を叩き網採集で捕獲した。初めて見た種なので、1頭を採集し他は逃がした。採集地は写真2で示したように、低い里山の尾根の下り始めたススキやヒノキの下の灌木やコシダを交えた草地である。



写真2. タイワントビナナフシの生息場所

岡田氏の記録はすべて市街地であるのに比して、この生息地は住宅に近い里山である。いずれにしても、岡田氏が「県内の平坦部に広く分布しているのではないかと考えておられるように、こんご各地で見出されると思われる。

終わりに、標本を同定し、種々ご教示をいただいた岡田正哉氏、文献を見せていただいた間野隆裕氏と吉鶴靖則氏に心ろから感謝の意を表する。

## 参考文献

- 岡田正哉(1988) タイワントビナナフシ愛知県に産する。月刊むし、(214):21.
- 岡田正哉(1996) 名古屋市内で採集されたタイワントビナナフシ。佳香蝶、48(185):16.
- 江崎佛三ほか(1950) 日本昆虫図鑑(改訂版):1738+203。(北隆館)
- 伊藤修四郎ほか(1981) 原色日本昆虫図鑑(下):1-385, 61pls。(保育社)

# 愛知県周辺におけるコルリクワガタの分布記録

城 殿 浩

筆者は「三河の昆虫」53号において、三河山間部の設楽山系にでのコルリクワガタの採集記録を報告した。また、「三河の昆虫」46号において愛知県とその周辺地域の採集記録を報告した。その後も各地域で調査を継続していて、採集記録も集まってきたので、ここに報告することにした。

コルリクワガタの分布域からキンコルリクワガタ *Platycerus acuticollis akitai* からトウカイコルリクワガタ *P. acuticollis takakuwai* にあたるが、産地を比べても境とされる天竜川を挟んだ個体を比較しても明確な差異が見あたらない。したがって、ここでは識別しないで記録のみを報告することにした。

また、最近の各地での市町村の合併が進んでいるが、基本的には採集した時点での地名で報告した。その他、愛知県内でも数箇所の産地が新たに判明したので、ここに併せて報告する。採集者はいずれも城殿本人である。

- ◇愛知県：4exs., 豊田市城ヶ平, 7-IV-2007; 2exs., 豊田市月ヶ平, 15-IV-2007; 1ex., 設楽町碁盤石山, 13-XI-2005.
- ◇三重県：10exs., 大安町三池, 17-XI-2002; 14exs., 四日市市鎌ヶ岳, 23-IV-2001.
- ◇静岡県：11exs., 富士裾野市位牌岳, 3-XI-2005; 8exs., 本川根町板取山, 31-III-2002; 18exs., 富士宮市長者ヶ岳, 3-XI-2002; 30exs., 静岡市～清水市真富士山, 10-XI-2002; 10exs., 富士市呼子岳, 17-X-2001; 2exs., 箱根町長尾峠, 11-IV-2004.

- ◇岐阜県：2exs., 白川町尾城山, 23-IV-2005; 1ex., 小坂町観音峠, 1-IV-2002; 10exs., 神岡町水の平, 25-V-2002; 1ex., 下呂町白草山, 13-X-2002; 1ex., 久々野町舟山, 17-V-2003; 2exs., 宮村位山, 18-V-2003; 1ex., 清見村西ウレ, 27-IV-2003; 26exs., 河合村水無, 25-V-2003; 8exs., 萩原町川上岳, 3-XI-2000.

- ◇長野県：2exs., 平谷村入川, 14-XI-2004; 4exs., 上村鬼面山, 20-IV-2002; 1ex., 上村熊伏山, 8-IV-2001; 20exs., 喬木村曾山, 17-IV-2000; 1ex., 阿智村神坂山, 24-X-2001; 2exs., 木祖村水木沢, 5-XI-2000.

- ◇福井県：10exs., 美浜町三国山, 30-X-2001; 10exs., 敦賀市乗鞍山, 5-V-2002; 2exs., 大野市モッカ平, 20-IV-2002.

- ◇富山県：5exs., 城端町大滝山, 11-X-2003; 6exs., 利賀村牛岳, 10-X-2003.

- ◇石川県：6exs., 山中町真砂, 31-X-2001.

これ以外にも各地で採集しているが、文献や私信などで確認した産地の記録は省略した。末尾になったが、この調査に同行したり、産地をご教示いただいた乙部 宏氏、金田吉高氏、吉田和久氏らに感謝の意を表する。

## 参考文献

- 城殿 浩 (1999) 愛知県とその周辺のコルリクワガタについて. 三河の昆虫, (46) : 462-464.
- 城殿 浩 (2006) 愛知県設楽山地におけるコルリクワガタ. 三河の昆虫, (53) : 633-634.

# 旧豊田市で記録が少ない種類についての報告 (2)

吉 鶴 靖 則

筆者は豊田市自然観察の森に勤務するレンジャーであり、採集禁止とされている自然観察の森と、その周辺地域の調査を担当しているため、一部で気がついた種類を撮影・採集する機会を得ている。2007年は大がかりな調査を行っていないが、昨年(2006)の吉鶴(2006)に引き続いて豊田市自然環境基礎調査報告書で記録が少ない種類について報告し、当地区の昆虫相の一資料としたい。

なお、採集地はすべて豊田市であるため市名を省略した。採集者名、撮影者名がないものは、すべて筆者によるものであり、その他の氏名は多くが自然観察の森関係のスタッフによるものである。一部に2006年の未発表記録も掲載した。採集した標本はすべて豊田市自然観察の森に保管されている。採集以外による確認行為は個体データの末尾にその旨を記した。

末尾であるが、貴重なデータを提供いただいた先崎啓究氏と宮脇伶央氏にお礼申し上げる。

## トンボ目 Odonata

### トンボ科 Libellulidae

ヨツボシトンボ

*Libellula quadrimaculata asahinai* Schmidt

京ヶ峰三丁目, 9-V-2007, 1ex. (撮影) ; 京ヶ峰三丁目, 23-V-2007, 4exs. (目撃) ; 市木町南山, 21-VI-2007, 1ex. (目撃)

コノシメトンボ

*Sympetrum baccha matutinum* Ris

市木町南山, 28-VII-2007, 1ex. (採集: 黒野吉明)

### カマキリ目 Mantodea

#### ヒメカマキリ科 Acromantidae

ヒメカマキリ

*Acromantis japonica* Westwood

市木町南山, 11-IX-2007, 1ex. (撮影) ; 京ヶ峰二

丁目, 27-XI-2007, 1ex. (採集: 市川智子)

2006年に引き続いての確認である。個体数は少ないようであるが、当地域には広く分布しているようである。このほか野積みした伐採木に産卵された卵鞘も京ヶ峰二丁目を確認している。

## カメムシ目 Hemiptera

### カスミカメムシ科 Miridae

モチツツジカスミカメ

*Orthotylus gotohi* Yasunaga

京ヶ峰二丁目, 20-VI-2006, 2exs.

1993年に記載された種類であるために報告例が少なく、愛知県では吉鶴(2003)が最初と思われる。豊田市自然環境基礎調査報告書には記録がないが、当地域では6月にモチツツジ上を注意していれば見られる。

## チョウ目 Lepidoptera

### アゲハチョウ科 Papilionidae

ナガサキアゲハ

*Papilio memnon thunbergii* von Siebold

京ヶ峰二丁目, 16-VII-2006, 1♀ (目撃) ; 市木町南山, 4-VIII-2006, 1♂ (目撃)

### タテハチョウ科 Nymphalidae

オオウラギンスジヒョウモン

*Argyronome ruslana lysippe* (Janson)

市木町南山, 7-X-2006, 1♀ (撮影: 先崎啓究)

## コウチュウ目 Coleoptera

### オサムシ科 Carabidae

ヤホシゴミムシ

*Lebidia octoguttata* Morawitz

東山町五丁目, 9-V-2007, 1ex.

### コガネムシ科 Scarabaeidae

コカブトムシ

*Eophileurus chinensis* (Faldermann)  
京ヶ峰二丁目,2-XI-2007,1ex. (採集:宮脇伶央)  
タマムシ科 Buprestidae  
アオマダラタマムシ  
*Nipponobuprestis amabilis*  
(Snellen van Vollenhoven)  
京ヶ峰二丁目,6-VI-2007,1ex.  
ホタル科 Lampyridae  
カタモンミナミボタル  
*Drilaster axillaris* Kiesenwetter  
市木町南山,28-VI-2007,1ex.  
2006年に引き続いての確認である。個体数は少ないが、当地域には広く分布しているようである。  
コメツキモドキ科 Languriidae  
クロアシコメツキモドキ  
*Languriomorpha nigratarsis* (Waterhouse)  
京ヶ峰二丁目,5-VII-2007,1ex.  
カミキリムシ科 Cerambycidae  
ホソトラカミキリ  
*Rhaphuma xenisca* (Bates)  
京ヶ峰二丁目,22-VI-2007,1ex.

ハムシ科 Chrysomelidae  
ユリクビナガハムシ  
*Lilioceris merdiger* (Linnaeus)  
京ヶ峰二丁目,20-VI-2007,1ex. (目撃)  
2006年に引き続いて同じ場所で継続的に発生しているのを確認した。  
ヘリグロテントウノミハムシ  
*Argopistes coccinelliformis* Csiki  
京ヶ峰二丁目,20-IV-2007,1ex. (採集:中尾文香)  
豊田市自然環境基礎調査報告書には記録がない。テントウノミハムシと分類が混乱している図鑑があるため、過去のデータにも本種があるものと思われる。

#### 参考文献

- 豊田市自然環境基礎調査会 (2005) 昆虫類. 豊田市自然環境基礎調査報告書 資料編, 105-386. (豊田市)  
吉鶴靖則 (2003) カメムシ類. 豊明市史 資料編補7 自然, 365-372. (豊明市)  
吉鶴靖則 (2006) 旧豊田市で記録が少ない種類についての報告. 三河の昆虫, 54: 652-653.

## 佐久島のカメムシ目の記録

浅岡孝知

幡豆郡一色町の佐久島に久しぶりに、大平仁夫博士、大場裕一博士夫妻、山崎隆弘氏ら三河昆虫研究会の方々と渡島した。何年たってもあまり変わっていない島の自然が迎えてくれた。しかし、昆虫相は少しずつ変わっているようである。

ここでは、山崎隆弘・浅岡孝知 (1990) に記録のない種が確認されたので、以下に4科4種を報告する。今回の調査により、合わせて34科84種が確認されたことになる。採集期日はすべて平成19年4月27日で、保管も筆者である。今回の企画を担当された山崎隆弘氏に感謝する。

カスミカメムシ科 Miridae  
・コブヒゲカスミカメ *Harpocera orientalis*  
Kerzhner, 1979 1ex.

ナガカメムシ科 Lygaeidae  
・オオメナガカメムシ *Piocoris varius*  
(Uhler, 1860) 1ex.  
ヘリカメムシ科 Coreidae  
・キバラヘリカメムシ *Plinactus bicoloripes*  
Scott, 1874 1ex.  
キジラミ科 Psylliidae  
・ベニキジラミ *Psylla coccinea* Kuwayama,  
1908 1ex.

#### 参考文献

- 山崎隆弘・浅岡孝知 (1990) 三河湾島の昆虫: 222-232 (自刊)

## ダイズ畑で大発生したモンキチョウ

小 鹿 亨

筆者の在住する安城市の北部地域では、近年はモンキチョウ *Colias erate poliographus* (Motschulsky, 1860) の観察される個体数がずいぶん減ったように感じていた。しかしながら、この2007年は前年までほとんど姿を見なかった場所で実に多くの個体を観察している。その目撃場所の多くがダイズ畑の周辺で、特にこの9月以降はダイズの葉の上に静止している成虫がよく目についた。残念ながら、ダイズから直接、本種の卵や幼虫は観察していないが、どうもダイズに発生しているようである。

減反政策によって、安城市でもほぼ3年に1度は水田が広いダイズ畑にされる。これがモンキチョウの食草を一時的に大量に供給することになって、結果的に本種の大発生をもたらしたようである。また、現在は耕地の多くが営農によって耕作・管理が行われており、畑によっては雑草が多く生えているような状況もあり、農薬などの散布も減っているのかも知れない。こうしたケースは、



ダイズの葉上に静止するモンキチョウ  
(2007年9月24日 安城市里町雁戸塚)

人が耕地を利用する方法が変化することによって、地域環境にも少なからず影響が現れてくる事例として比較的わかりやすいものと言えよう。

身近な自然環境は、常に人との関わりの中でその現れ方が変化していく。そして、その結果をいつも予想できるものとは限らず、人間活動による自然への影響には十分に注視していくことが必要である。

## トラフシジミがサクラの葉の蜜腺で吸蜜行動

小 鹿 亨

トラフシジミ *Rapala arata* (Bremer, 1861) は、訪花して吸蜜をすることはよく知られている。筆者は本種が花ではなく、サクラの葉の蜜腺に口吻を差し込んでいる姿を目撃しているため、本種の生態記録の一つとして報告する。

訪れたのはエドヒガンザクラ *Cerasus spachiana* の品種であるウスズミザクラで、筆者の勤務する安城市立今池小学校の敷地内に植栽されたもので樹高は5 m程度である。その根元から1.5 m程度の高さで、東側に伸びた枝先に1頭のトラフシジミ



2007年6月27日 安城市今池町 安城市立今池小学校で  
トラフシジミの吸蜜行動



が飛来して、しばらく枝の上を動いていたが葉の根元にある蜜腺に口吻を立ててしばらく静止していた。時間は測定していないが2分程度はこの枝にいたと記憶している。

参考までに本種は、安城市内では比較的稀なチ

ョウであり、今池小学校の周辺でふだんにおいてまず観察することはない。

## シロオビチビサビキコリ岡崎市に分布

大平仁夫

シロオビチビサビキコリ *Adelocera* (*Brachylacon*) *difficilis* (Lewis, 1894) は、日本では琉球列島から本州の岐阜県あたりまでの照葉樹林帯に分布する暖地系の樹上性で、体長は3~4mm内外で暗褐色をした小型種である。

愛知県ではいままで三河地方のみから記録されており、新城市の三河大野(旧鳳来町内)、豊橋市(本坂峠、石巻山、赤岩)と田原市渥美町の越戸大山からの記録があるだけで、どこも個体数は少なく、むしろ希な種となっている。

筆者はこのたび、岡崎市の北部にある村積山(標高256.9m)で採集された1雌個体(図)を検することができたので記録する。末尾に標本を提供していただいた岡崎市の城殿浩氏に御礼申しあげる。この標本は筆者が保管している。

標本：1♀、岡崎市村積山、20-V-2006、城殿浩採集。(図示した個体)



## 高所におけるコカマキリの産卵事例

吉鶴靖則

コカマキリの産卵場所としては、一般に地表の石や倒木の裏側など、地上部が多い。また、成虫も地上徘徊性で樹上に高く登ることは稀といわれている(岡田2001)。今回地上3mに設置した鳥の巣箱でコカマキリの卵鞘を確認したが、このような高所で産卵することは稀であると思われるので、ここに報告する。

確認場所：愛知県豊田市京ヶ峰2丁目

豊田市自然観察の森内(標高約125m)

観察路9~12番の間、巣箱番号17

巣箱の設置個所は丘陵地の尾根線部分にあたり、樹高10mほどの高木層にはツブラジイとコナラ、アベマキなど、低木層にはヒサカキ、タカノツメ、ソヨゴなど、草本層にはタカノツメ、ヤブコウジ、コウヤボウキ、ツルアリドオシなどが生育する雑木林環境である。雑木林内を通る幅2m

ほどの観察路から、3mほど雑木林内部に入ったところで、地上3mのところに設置した巣箱の屋根の裏側に産卵されており(図1)、2006年11月15日の巣箱の点検回収時に気が付いたものである。卵鞘の状況や巣箱の管理状況から2006年秋に産卵されたものと思われるが、具体的な期間の特定はできなかった。

### 参考文献

岡田正哉(2001) 昆虫ハンター コカマキリのすべて、トンボ出版。

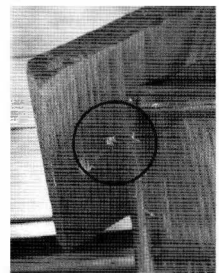


図1 巣箱の屋根の下に産卵されたコカマキリの卵鞘(丸印内)。巣箱を地上に降ろしてから撮影。

## 佐久島の採集会

2007年度の総会で決まった4月29日(日)に佐久島で山崎隆弘氏の案内で行われました。参加者は大平仁夫、大場裕一・玲子夫妻、山崎隆弘、水野宏、柵木宗孝、山本英治と筆者の8名でした。三河一色港に集合し、佐久島の西港に定期船で渡り、表海岸通りと山手に入るルートに分かれ、集合場所の東港に向かいました。畑地にはさまざまな作物が作付けされていて、モンシロチョウやベニシジミなどが舞っており、その周辺の防風林に花が咲いていて、ハナムグリ類や佐久島初記録のコジマコバネカミキリが集まっていました。また、畑の「びわ」にはモモチョッキリがきていました。この久しぶりの佐久島での採集会は、一年の肩慣らしともなり、昔の素朴な島特有の情緒をあちこちに残した島の一日を楽しく過ごすことができました。(浅岡孝知記)



図. 完全武装姿で採集活動される水野氏の後姿。

## 大平先生を囲む虫屋の集い

大平先生は平成19(2007)年4月25日(みどりの日)に新宿御苑にて、自然環境功労者環境省大臣表彰を調査研究部門で受賞されました。受賞内容は「昆虫研究(特にコメツキムシ)の研究で世界的な業績を残し、永年にわたり調査研究を続ける一方、自然環境保全の重要性を啓発し、指導や支援にも尽力した」ことなどが評価されました。

そこで、古くからの虫屋仲間による先生を囲むささやかなお祝いの会を採集会を兼ねて6月10日(日)に行いました。豊川市赤塚公園に集合、公園を散策し、隣接のぎょぎょランドを見学、江島の豊川河川敷で採集、作手鬼久保のふれあい広場のレストラン(図)で昼食会をしました。それぞれが自己紹介をし、先生からは受賞の経緯をユーモアを交えて話され、皆虫屋の童心にかえって、いろいろな話も飛び出し、楽しい会になりました。食後はそれぞれの目的の場所に分かれて採集をし

て、思い出の多い一日を終えました。(緒方清人記)



参加者：前列右より山崎隆弘、小鹿登美、大平仁夫、大場玲子；中列右より小鹿亨、高柳久和、浅岡孝知、中根吉夫、水野宏、城殿浩、松野更一、緒方清人；後列右より伊藤昭博、大場裕一、杉坂美典、久永和彦、金田吉高の各氏。

(世話人代表：山崎、緒方、小鹿)

## 新シリーズ・昆虫と私(1)

加藤 忠和

4年前に退職、養虫生活にならずに健康を保つため、毎年1~2回南の島へ採集に出かけています。奄美・沖縄・宮古・八重山諸島を巡り、そのたびに変わった虫に出会い、新しい標本が増えていきます。今年(2007)は西表島と石垣島へ2週間旅をしました。西表島ではカンビレー滝からの帰り道で、珍品の「チャイロマルバネクワガタの雌」が歩いていて驚きました。出かける前に、台風が通過した影響か、石垣島では4種の迷蝶に出会いました。

毎年夏に碧南明石公園で展示したり、小学校・保育園・JAに標本を飾ったりしています。また、碧南市海の科学館・西尾ふれあいの里の自然観察会の講師をしたり、採集や飼育の方法を実物を見せながら虫の話などしています。この話を聞いた先生や保護者や子供たちが「他のいろいろな昆虫を見たい」と云って、家に訪問してくれています。そこで、「実物を見ることにより、虫の不思議さや神秘さを知り、虫を通して自然に興味を持ってほしい」と願い、昨年(2006)4月に自宅の一室に展示室を作り、70箱あまりの標本箱を展示して



奄美諸島：与論島にて(2005・VI)

います。1年に3回模様換えをし、水・土曜日の午後には開館。現在アゲハチョウの仲間、カブトムシ、クワガタムシなどを展示しています。見学に訪れる人や親子と親しくなり、私自身もいろいろな情報を教えてもらい、楽しい良い刺激になっています。

## 新シリーズ・昆虫と私(2)

小笠原 幸恵

赤い糸をたぐっていたら、そこにクモがいたってことなのかな……。

クモ屋さん達はみんな親切に一から十までいろいろなことを教えてくださいました。それなのに将来の“いーかげん”な性格ゆえ、いまだに素人に毛が生えた程度に留まっています。この三河昆虫研究会にはクモが緑で末席を汚すことになりました。昆虫では甲虫もキレイだなと思いますが、私はガ類の派手やかな、あるいは微妙な色合いのシックな装いにむしろ惹かれます。

現在はネコと、勤めている組合のオジ(イ?)サンたちのお世話にいっぱい、野外へクモを見にでることもままならない状態ですが、仕事の合間に

ひょっと出会うクモに密かな喜びを見出してはひとり満足しています。

結局、赤い糸の先っぽにはヒト♂はつながつていなかったことで……。



(\*) 小笠原さんは、この地方では珍しい熱心なクモ研究者で、緒方清人さんらに師事されています。女性クモ学者であった(故)大熊千代子先生のようになってください。

## 原田猪津夫先生 お世話になりました

原田先生は、この会が発足した当時の会員で、ほ乳類から鳥類、両性は虫類から昆虫類などの生態や分布などを幅広く手がけてこれ、居住地の田口を基地にして活躍、とくにほ乳類や両性ハ虫類の研究での第一人者でした。また、「豊根村の動物」(198)、設楽町誌(自然篇)や稲武町史(自然篇)(1996)などは先生の努力がなかったら完成できなかった仕事ですし、田口郷土館や鳳来寺自然科学博物館の設立にも参画されています。その他、「愛知県の両生は虫類」(1996)は先生のこの地域での豊富な研究調査が生かされた代表作と思います。



先生はいつも現地調査をして確かめることをされていて、その発言や資料は他の同好者からも高く評価されていました。また、自身では地域での資料の収集や、東南アジア自然科学調査団などに参加して、琉球列島から東南アジア各地でも調査をされて、国内では礼文島、利尻島、対馬にも出向かれています。

先生は設楽町では教師でしたが、赴任先ではまず理科室を整備して、そこに各種の剥製や昆虫標本を充実され、稲武中学校に在職時には、田口から津具を経由して面ノ木峠を越しての通勤でしたが、先生は途中で採集や観察ができる面ノ木があるのを喜んで早朝より出かけて観察されて出勤されていました。

先生は10年ほど前から体調をこわされ、療養されていましたが、病魔には克てず、2008年1月17日に天国に召されました。先生の膨大な蒐集資料は田口郷土資料館に寄贈されています。ここに先生から受けた数々の恩や指導を謝し、お知らせします。先生は、1月17日の19時からと18日の13時から、新城市茶臼山の教会で多くの友人や信者に見送られて78才で天に召されて旅立たれました。

\*原田先生のことは「三河の昆虫」(47):496-500(2000)も参照ください。(大平仁夫記)

### 「お知らせ」

#### 穂積俊文先生の逝去

\*会員でよき指導者であった穂積文先生は、2007年6月21日に81才で逝去されました。先生の追悼の特集記事は「NAPINEWS」(312)に掲載されていますのでごらんください。ここに謹んで哀悼の意を表します。

#### ☆「本宮山の昆虫誌」の発刊☆

すでにお知らせした「本宮山の昆虫誌」の発刊準備は山崎編集長のもとで鋭意進められています。A5版80頁内外。オールカラーで、本宮山関係の文献一覧も収録されます。価格はまだ未定ですが、予約出版ですので、希望者は事務局か山崎さんあて申しでてください。発刊予定2008年5月。

#### ☆三河昆虫研究会への入会案内☆

三河昆虫研究会は、会報「三河の昆虫」を年1回と連絡紙の「三河の昆虫(通信)」を複数回発行し、地域の昆虫相の解明につとめています。入会希望のかたは、年会費3,000円を添えて下記あて申し込みください。